

3 項目別実績

第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 県立病院機構は、定款で定める業務について、その質の向上に取り組むこと。また、その成果を県民や他の医療機関と共有できるよう情報発信すること。

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績					自己評価																																																																									
				行動計画					説明																																																																									
1 医療の提供 医療機関として求められる基本的な診療姿勢や県立病院が担う医療を明確にし、医療の質の向上に努め、患者や家族、地域から信頼される医療を提供すること。 (1) 基本的な診療姿勢 診療に当たっては、患者が最良の治療効果を得られるよう、患者との信頼関係の構築に努め、科学的根拠に基づく最適な医療を患者への十分な説明と同意のもとに安全に提供すること。	第1-1 医療の提供 機構の全職員は、県立病院が担う役割と責任を認識するとともに、基本的な診療姿勢の主旨を理解し、医療の提供にあたってはその実践に取り組む。	1	総合	運用実績を通じてエビデンスに基づくクリニカルパスの新規作成や見直しを行うことにより、医療の質を確保し入院中の経過を分かりやすく説明できるクリニカルパスの適用率を高める。					・クリニカルパス管理委員会を毎月1回開催し、新規作成、修正の審議・承認を行った。 ・クリニカルパス適用率は年々上昇し、60%を超えている。 クリニカル・パス作成件数、適用率 (単位：件、%)	A	(実績に対する評価) クリニカルパスについては、常に内容を見直す体制を維持しており、適用率も高水準にあり、患者に対してより良い医療を提供しているため、中期目標が十分達成されている。 (課題) 今後も引き続き新規パス作成、既存パスの見直しを行い、より良い医療を提供していく。またスタッフがより使いやすいシステムにしていく。																																																																							
				DPCの診療情報に基づく症例分析を行う								・DPC分析ソフトを用いて他院とのベンチマーク分析、当院のDPC分析を行った。他院とのベンチマークについては、当院で取得している施設基準、特別食加算等の算定状況を比較した。また、転院症例の平均在院日数について比較を行った。当院のDPC分析については、DPC請求額や入院期間率等の推移を分析した。 ・全自病DPC報告書を基に、後発医薬品使用率やDPCカバー率を全国の自治体病院と比較した。	A	(実績に対する評価) DPC分析ソフトの導入により他施設との比較を行うことが可能となり、施設基準取得状況・算定状況、在院日数等のベンチマーク分析を実施しており、中期目標が十分達成されている。 (課題) 今後は、プロパー職員のスキルアップを図り、より精緻で実用的な分析を行う。																																																																				
				入院における患者の負担軽減及び計画的でわかりやすい医療を提供するため、精神科に適したクリニカルパスを作成し導入する。								・クロザピンによる治療を開始するにあたり、新規クリニカルパスを導入した。 平成25年度稼働クリニカルパス 4件 (m-ECT、転倒転落、鑑定入院、クロザピン) 稼働クリニカルパスの状況 (単位：件)			A	クリニカルパスの適用が比較的少ない精神科にあっても、導入が可能ものについては、積極的に導入しており、中期目標が十分達成されている。																																																																		
				DPCの診療情報を分析し、診療へフィードバックするため、診療情報の管理体制を整備する。								DPC分析ソフトを導入し適正なコーディングの実施、DPCにおける診療報酬と出来高計算による報酬額の比較等を行った。					B	分析ソフトを利用しての適正なコーディングを実施しているため、中期目標が概ね達成されているが、ソフトによる分析結果の現場へのフィードバックを更に強化する必要がある。																																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規承認</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>修正承認</td> <td>72</td> <td>41</td> <td>71</td> <td>75</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>総件数</td> <td>174</td> <td>201</td> <td>217</td> <td>225</td> <td>236</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>58.6</td> <td>61.1</td> <td>65.5</td> <td>66.7</td> <td>68.2</td> </tr> </tbody> </table>					区分	H21	H22	H23	H24	H25	新規承認	16							27	16	8	23	修正承認	72	41	71	75	71	総件数	174	201	217	225	236	適用率	58.6	61.1	65.5	66.7	68.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	H24	H25	こころ	3	3	4	4	4	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規承認</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>修正承認</td> <td>72</td> <td>41</td> <td>71</td> <td>75</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>総件数</td> <td>174</td> <td>201</td> <td>217</td> <td>225</td> <td>236</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>58.6</td> <td>61.1</td> <td>65.5</td> <td>66.7</td> <td>68.2</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	H24	H25	新規承認	16	27	16	8	23	修正承認	72	41	71	75	71	総件数	174	201	217	225	236	適用率	58.6	61.1	65.5
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																													
新規承認	16	27	16	8	23																																																																													
修正承認	72	41	71	75	71																																																																													
総件数	174	201	217	225	236																																																																													
適用率	58.6	61.1	65.5	66.7	68.2																																																																													
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																													
こころ	3	3	4	4	4																																																																													
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																													
新規承認	16	27	16	8	23																																																																													
修正承認	72	41	71	75	71																																																																													
総件数	174	201	217	225	236																																																																													
適用率	58.6	61.1	65.5	66.7	68.2																																																																													

中期目標	中期計画	NO	区分	行動計画	業務の実績		自己評価																																																																																																																																																																																											
							説明																																																																																																																																																																																											
		5	3病院 (企画)	医療安全室及び感染対策委員会等を中心に、マニュアルの見直しや研修会を通じて院内感染防止対策・医療安全対策を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・3病院で、院内感染対策研修、医療安全対策研修を行い、安全・安心な医療の提供に対する職員への意識づけと、体制整備を行っている。 ・医療安全全国共同行動のモニター施設としてレベルの向上を目指す。 	<table border="1"> <caption>集団感染数(件)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="5">集団感染数(件)</th> </tr> <tr> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>院内感染対策研修</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="10">院内感染対策研修</th> </tr> <tr> <th colspan="2">H21</th> <th colspan="2">H22</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> </tr> <tr> <td></td> <td>研修数(回)</td> <td>参加者数(人)</td> <td>研修数(回)</td> <td>参加者数(人)</td> <td>研修数(回)</td> <td>参加者数(人)</td> <td>研修数(回)</td> <td>参加者数(人)</td> <td>研修数(回)</td> <td>参加者数(人)</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>4</td> <td>729</td> <td>2</td> <td>228</td> <td>2</td> <td>272</td> <td>5</td> <td>397</td> <td>3</td> <td>402</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>5</td> <td>77</td> <td>6</td> <td>80</td> <td>7</td> <td>327</td> <td>5</td> <td>237</td> <td>8</td> <td>512</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>1</td> <td>74</td> <td>4</td> <td>186</td> <td>14</td> <td>366</td> <td>32</td> <td>791</td> <td>17</td> <td>553</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10</td> <td>880</td> <td>12</td> <td>494</td> <td>23</td> <td>965</td> <td>42</td> <td>1,425</td> <td>28</td> <td>1,467</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>医療安全対策研修</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="10">医療安全対策研修</th> </tr> <tr> <th colspan="2">H21</th> <th colspan="2">H22</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> </tr> <tr> <td></td> <td>研修数(回)</td> <td>参加者数(人)</td> <td>研修数(回)</td> <td>参加者数(人)</td> <td>研修数(回)</td> <td>参加者数(人)</td> <td>研修数(回)</td> <td>参加者数(人)</td> <td>研修数(回)</td> <td>参加者数(人)</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>7</td> <td>774</td> <td>13</td> <td>1,513</td> <td>13</td> <td>1,214</td> <td>14</td> <td>1,553</td> <td>13</td> <td>1,364</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>10</td> <td>360</td> <td>22</td> <td>505</td> <td>18</td> <td>641</td> <td>12</td> <td>548</td> <td>12</td> <td>590</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>21</td> <td>1,601</td> <td>23</td> <td>1,307</td> <td>21</td> <td>841</td> <td>26</td> <td>1,354</td> <td>31</td> <td>1,571</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>38</td> <td>2,735</td> <td>58</td> <td>3,325</td> <td>52</td> <td>2,696</td> <td>52</td> <td>3,455</td> <td>56</td> <td>3,525</td> </tr> </tbody> </table>	区分	集団感染数(件)					H21	H22	H23	H24	H25	総合	0	0	0	6	4	こころ	0	0	0	-	-	こども	0	1	0	1	-	計	0	1	0	7	4	区分	院内感染対策研修										H21		H22		H23		H24		H25			研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	総合	4	729	2	228	2	272	5	397	3	402	こころ	5	77	6	80	7	327	5	237	8	512	こども	1	74	4	186	14	366	32	791	17	553	計	10	880	12	494	23	965	42	1,425	28	1,467	区分	医療安全対策研修										H21		H22		H23		H24		H25			研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	総合	7	774	13	1,513	13	1,214	14	1,553	13	1,364	こころ	10	360	22	505	18	641	12	548	12	590	こども	21	1,601	23	1,307	21	841	26	1,354	31	1,571	計	38	2,735	58	3,325	52	2,696	52	3,455	56	3,525	A
区分	集団感染数(件)																																																																																																																																																																																																	
	H21	H22	H23	H24	H25																																																																																																																																																																																													
総合	0	0	0	6	4																																																																																																																																																																																													
こころ	0	0	0	-	-																																																																																																																																																																																													
こども	0	1	0	1	-																																																																																																																																																																																													
計	0	1	0	7	4																																																																																																																																																																																													
区分	院内感染対策研修																																																																																																																																																																																																	
	H21		H22		H23		H24		H25																																																																																																																																																																																									
	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)																																																																																																																																																																																								
総合	4	729	2	228	2	272	5	397	3	402																																																																																																																																																																																								
こころ	5	77	6	80	7	327	5	237	8	512																																																																																																																																																																																								
こども	1	74	4	186	14	366	32	791	17	553																																																																																																																																																																																								
計	10	880	12	494	23	965	42	1,425	28	1,467																																																																																																																																																																																								
区分	医療安全対策研修																																																																																																																																																																																																	
	H21		H22		H23		H24		H25																																																																																																																																																																																									
	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)	研修数(回)	参加者数(人)																																																																																																																																																																																								
総合	7	774	13	1,513	13	1,214	14	1,553	13	1,364																																																																																																																																																																																								
こころ	10	360	22	505	18	641	12	548	12	590																																																																																																																																																																																								
こども	21	1,601	23	1,307	21	841	26	1,354	31	1,571																																																																																																																																																																																								
計	38	2,735	58	3,325	52	2,696	52	3,455	56	3,525																																																																																																																																																																																								
		6	3病院 (企画)	患者の視点に立った質の高い医療の提供を目指し、患者要望等の的確な把握及び患者満足度調査を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・3病院において、毎年度患者満足度調査を実施している。 ・調査実施後は結果の分析を行い、課題については改善策を検討し、可能な取組みについては実施している。 	<table border="1"> <caption>患者満足度調査 (単位: %)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="5">患者満足度調査</th> </tr> <tr> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>入院</td> <td>93.2</td> <td>92.6</td> <td>89.5</td> <td>95.8</td> <td>96.4</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>83.4</td> <td>80.5</td> <td>86.7</td> <td>90.9</td> <td>91.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こころ</td> <td>入院</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>85.6</td> <td>85.9</td> <td>84.2</td> <td>89.3</td> <td>88.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こども</td> <td>入院</td> <td>91.0</td> <td>88.9</td> <td>92.8</td> <td>93.7</td> <td>92.5</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>90.2</td> <td>86.7</td> <td>86.2</td> <td>90.9</td> <td>89.4</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>患者満足度調査に基づく実施改善策</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施改善策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>CS7-ショップ【総合】/模擬患者体験【総合】/新聞、雑誌の配架【こころ】/トイレ改修【こども】</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>模擬患者体験【総合】/入院案内修正【総合】/よろず相談室受付に委託職員を配置【こころ】/病院情報、健康情報、共同通信ニュース等の放映を行っている病院情報放映システム(メディネット)の大型液晶モニター2台追加【こども】</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>CS7-ショップ【総合】/模擬患者体験【総合】/入院案内修正【総合】/診察室のドアに予約時間の説明を掲示【こころ】/委託職員への接遇研修を実施【こども】/外来受付にコンシェルジュの設置【こども】/わくわく文庫(児童図書)移動式書庫の外来待合室への設置【こども】</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>施設案内の修正【総合】/新患者へ事前に情報用紙の記入を依頼する取組【こころ】/委託職員への接遇研修【こども】/外来の改修【こども】</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>外来待ち時間短縮(再審での診察前検査実施)/外来受付のブロック化【総合】/患者情報共有ノートによる他職種との意識連携【こころ】/外来の改修【こども】</td> </tr> </tbody> </table>	区分	患者満足度調査					H21	H22	H23	H24	H25	総合	入院	93.2	92.6	89.5	95.8	96.4	外来	83.4	80.5	86.7	90.9	91.9	こころ	入院	-	-	-	-	-	外来	85.6	85.9	84.2	89.3	88.8	こども	入院	91.0	88.9	92.8	93.7	92.5	外来	90.2	86.7	86.2	90.9	89.4	年度	実施改善策	H21	CS7-ショップ【総合】/模擬患者体験【総合】/新聞、雑誌の配架【こころ】/トイレ改修【こども】	H22	模擬患者体験【総合】/入院案内修正【総合】/よろず相談室受付に委託職員を配置【こころ】/病院情報、健康情報、共同通信ニュース等の放映を行っている病院情報放映システム(メディネット)の大型液晶モニター2台追加【こども】	H23	CS7-ショップ【総合】/模擬患者体験【総合】/入院案内修正【総合】/診察室のドアに予約時間の説明を掲示【こころ】/委託職員への接遇研修を実施【こども】/外来受付にコンシェルジュの設置【こども】/わくわく文庫(児童図書)移動式書庫の外来待合室への設置【こども】	H24	施設案内の修正【総合】/新患者へ事前に情報用紙の記入を依頼する取組【こころ】/委託職員への接遇研修【こども】/外来の改修【こども】	H25	外来待ち時間短縮(再審での診察前検査実施)/外来受付のブロック化【総合】/患者情報共有ノートによる他職種との意識連携【こころ】/外来の改修【こども】	A																																																																																																																													
区分	患者満足度調査																																																																																																																																																																																																	
	H21	H22	H23	H24	H25																																																																																																																																																																																													
総合	入院	93.2	92.6	89.5	95.8	96.4																																																																																																																																																																																												
	外来	83.4	80.5	86.7	90.9	91.9																																																																																																																																																																																												
こころ	入院	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																												
	外来	85.6	85.9	84.2	89.3	88.8																																																																																																																																																																																												
こども	入院	91.0	88.9	92.8	93.7	92.5																																																																																																																																																																																												
	外来	90.2	86.7	86.2	90.9	89.4																																																																																																																																																																																												
年度	実施改善策																																																																																																																																																																																																	
H21	CS7-ショップ【総合】/模擬患者体験【総合】/新聞、雑誌の配架【こころ】/トイレ改修【こども】																																																																																																																																																																																																	
H22	模擬患者体験【総合】/入院案内修正【総合】/よろず相談室受付に委託職員を配置【こころ】/病院情報、健康情報、共同通信ニュース等の放映を行っている病院情報放映システム(メディネット)の大型液晶モニター2台追加【こども】																																																																																																																																																																																																	
H23	CS7-ショップ【総合】/模擬患者体験【総合】/入院案内修正【総合】/診察室のドアに予約時間の説明を掲示【こころ】/委託職員への接遇研修を実施【こども】/外来受付にコンシェルジュの設置【こども】/わくわく文庫(児童図書)移動式書庫の外来待合室への設置【こども】																																																																																																																																																																																																	
H24	施設案内の修正【総合】/新患者へ事前に情報用紙の記入を依頼する取組【こころ】/委託職員への接遇研修【こども】/外来の改修【こども】																																																																																																																																																																																																	
H25	外来待ち時間短縮(再審での診察前検査実施)/外来受付のブロック化【総合】/患者情報共有ノートによる他職種との意識連携【こころ】/外来の改修【こども】																																																																																																																																																																																																	

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績						自己評価			
				行動計画		業務の実績						説明	
		7	各病院	セカンドオピニオン外来を充実する。		セカンドオピニオン数 (単位:件)						【総合】 継続的に依頼を受ける体制を維持している。(課題) ・転院希望なのかセカンドオピニオン希望なのかの切り分けが難しい。 ・日常診療が多忙で枠の確保が課題である。 【こども】 小児専門病院として、セカンドオピニオンを受け入れている。 中期目標期間を通じて継続的にセカンドオピニオンを受け入れており、中期目標がおおむね達成されている。	
(2) 県立病院が担う役割 県内医療機関の中核的病院として地域連携に努め、他の医療機関では対応困難な高度又は特殊な医療など、県の保健医療施策として求められている医療を誠実に提供すること。	(2) 県立病院が担う役割 県立病院が担う高度・特殊・専門医療が確実に提供できるよう、地域の医療機関との相互連携や機能分担を進める。併せて、情報技術を活用した医療連携や疾患ごとの地域連携ネットワークづくりを進める。	8	各病院	【総合】地域医療ネットワークシステムを整備・活用する。		【総合】紹介率は過去最高水準となった。逆紹介率は昨年度と比べると低下したが、依然として高い水準を保っている。また、情報通信技術を活用した地域医療連携ネットワークシステム「ふじのくにバーチャル・メガ・ホスピタル」(ふじのくにねっと)を平成22年度に整備し、以降順調に活用している。平成26年3月現在、14の開示施設と175の参照施設が参加している。						【総合】 紹介率、逆紹介率ともに高い水準を保っており、地域の医療機関との連携が円滑に進められ、中期目標が十分達成されている。また、情報通信技術を活用した地域医療連携ネットワークシステム整備・活用しており、この面でも中期目標が十分達成されている。	
(3) 県立病院が重点的に取り組む医療 がん、脳卒中、急性心筋梗塞、精神疾患などの医療、救急医療、周産期医療及び小児医療の分野における高度医療又は急性期医療に取り組むこと。 また、結核、エイズ、新型インフルエンザ等の感染症医療や難病医療、移植医療等を提供すること。	(3) 県立病院が重点的に取り組む医療 静岡県が掲げる7疾病5事業を念頭に、各県立病院が専門性を活かしつつ、県立病院間や地域の医療機関との連携を強化して、病態に即した的確な医療を提供する。特に、全国的な課題とされている救急医療や急性期医療の充実に重点的に取り組む。												
	ア 循環器疾患については、小児は県立こども病院が、成人は県立総合病院がそれぞれ県内の中核病院の機能を果たしていく。	9	各病院	【総合】N013に記載 【こども】N029に記載									
	イ 周産期医療や精神身体併症などについては、各県立病院が連携して取り組む。	10	各病院	周産期医療や精神身体併症等に対して、機構内3病院が連携し、より最適な医療の提供を行う。		【総合・こども間での連携】 ・身体合併症患者の診察のため、総合病院の内科医が定期的に往診を実施した。また、皮膚科医も応援体制が確立されている。なお、緊急時には、総合病院へ搬送することとしている。 ・総合病院の緩和医療チームにこどもの医療センター医師が参加している。 【総合・こども間での連携】 ・切迫早産等により総合病院からこども病院への搬送が行われた。 ・母体の急変等によりこども病院周産期センターから総合病院への搬送が行われた。 【こども・こども間での連携】 ・児童の措置入院等、こども病院での受け入れ困難な場合はこどもの医療センターにて受入れている。						3病院1法人のメリットを活かし、患者の搬送、医師の応援体制の確保等、病院間の連携、協力体制を密に対応が行われ、中期目標が十分達成されている。	

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績						自己評価																																					
				行動計画		業務の実績						説明																																			
	ウ 結核指定医療機関、エイズ拠点病院及び難病医療協力病院等として感染症医療や難病医療に著実に取り組む。	11	各病院	【総合】結核病棟を維持する。また各種感染症や難病は県内医療機関との連携・協力関係を進めて対応する。	【総合】結核入院患者は減少し続けているが、結核病棟の体制を縮小することなく受け入れに努めた。エイズ患者はエイズ中核拠点病院である市立静岡病院と県立こども病院との連携、難病は難病拠点病院である浜松医科大学付属病院や神経専門病院である静岡医療センター等との連携により対応した。						A	【総合】患者の受入、他の拠点病院との連携を維持しており、中期目標が十分達成されている。																																			
	エ 先進的医療である移植医療のうち、肝移植の実施の可否について検討を進める。	12	各病院	【こども】実施可否の検討を進める。	【こども】肝移植については、チームを組んでの対応が必要となるため、県立総合病院、県立静岡がんセンター他との連携体制の構築が必要となり、現状そのための検討を進めることとしている。今期内の実施実績はない。						C	検討のための関係機関を含めた組織作りが必要となっている。																																			
	オ 各県立病院は医療の提供に当たり、次のとおり重点的に取り組む。																																														
	(7) 県立総合病院 ・急性心筋梗塞、脳卒中等の循環器疾患において、24時間を通して高度な専門的治療を提供する体制の充実を図る。加えて、生活習慣病としての危険因子を管理するため、地域の医療機関との連携を強化する。 ・がん患者に対し、地域がん診療連携拠点病院として、手術及び化学療法、放射線療法を組み合わせた高度な集学的治療（各分野の専門医が協力して治療に当たること）を提供する体制を整備するとともに、地域の医療機関等と連携した緩和ケアや終末期医療を提供していく。 ・重篤な救急患者に対応するため、救命救急センターに準じた機能を目指し、段階的な整備を図る。	13	総合	当直等の勤務体系を考慮した冠動脈疾患集中治療室（CCU）を中心に24時間365日体制を構築し、高度専門診療を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・循環器病センター3階のCCU/ICUを24時間体制（循環器内科単独の医師当直勤務及び看護師の常時2対1の交代制勤務）により最大14床を運用し、病床利用率は90%を超えている。 ・平成21年度には、不整脈専門医を迎え、不整脈外来を再開し、カテーテルによる不整脈治療も本格的に再開した。 <table border="1"> <tr> <th colspan="7">CCU/ICU稼働率</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th></th> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>89.0</td> <td>100.8</td> <td>98.4</td> <td>93.4</td> <td>96.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入室患者数(人)</td> <td>805</td> <td>988</td> <td>1,051</td> <td>784</td> <td>717</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1日平均(人)</td> <td>11.3</td> <td>13.4</td> <td>13.8</td> <td>11.6</td> <td>10.1</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">※退院・転出を含める</p>						CCU/ICU稼働率							区分	H21	H22	H23	H24	H25		稼働率(%)	89.0	100.8	98.4	93.4	96.1		入室患者数(人)	805	988	1,051	784	717		1日平均(人)	11.3	13.4	13.8	11.6	10.1		A	24時間365日体制で高度医療を提供する体制を維持しているため、中期目標が十分達成されている。
CCU/ICU稼働率																																															
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																										
稼働率(%)	89.0	100.8	98.4	93.4	96.1																																										
入室患者数(人)	805	988	1,051	784	717																																										
1日平均(人)	11.3	13.4	13.8	11.6	10.1																																										
		14	総合	生活習慣病を総合的血管疾患としてとらえ、循環器内科、神経内科、腎臓内科、心臓血管外科等が有機的に連携して、チーム医療の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係科の医師及びコメディカルによる合同検討会（総合血管チームカンファレンス）を平成25年度は6回開催し、スタッフが協力して患者の治療にあたるチーム医療の連携方法を検討している。 						A	チーム医療の推進を図る検討を行っているため、中期目標が十分達成されている。																																			
		15	総合	脳卒中発症患者に対する急性期医療の提供体制を整備するとともに、在宅医療への情報提供等、在宅復帰に向けた取り組みを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度より開始した土曜日（第2、第4）のリハビリテーションを継続実施している。 ・脳卒中の地域連携クリニカルパスを運用している。 ・神経内科、脳神経外科とも医師の増員は実現できなかった。 <table border="1"> <tr> <th colspan="7">脳卒中地域連携診療計画管理料 (単位: 件)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th></th> </tr> <tr> <td>算定件数</td> <td>41</td> <td>77</td> <td>68</td> <td>33</td> <td>36</td> <td></td> </tr> </table>						脳卒中地域連携診療計画管理料 (単位: 件)							区分	H21	H22	H23	H24	H25		算定件数	41	77	68	33	36		B	課題である医師、看護師、リハビリスタッフの確保とともに、血管内治療のできる専門医も確保する必要がある。引き続き、医師、看護師、リハビリスタッフの確保に努力し、ストロークケアユニット（SCU）等脳卒中救急患者受入体制の更なる整備を図る必要があるが、脳血管疾患治療等の推進が期待できる体制が整いつつあるため、中期目標が概ね達成されている。														
脳卒中地域連携診療計画管理料 (単位: 件)																																															
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																										
算定件数	41	77	68	33	36																																										
		16	総合	がんに関する相談支援の窓口を一本化し、情報の提供・発信の強化を図るため、がん相談窓口のスタッフを増強する。	<ul style="list-style-type: none"> ・患者からの相談に対応する「総合相談センター」を組織上明確化した。センターには、がん相談窓口専従の認定看護師を配置し、患者に対する相談・支援体制を維持している。 ・がん患者カウンセリング料の施設基準を取得した。 <table border="1"> <tr> <th colspan="7">がん相談件数 (単位: 件)</th> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th></th> </tr> <tr> <td>がん相談</td> <td>1,467</td> <td>1,566</td> <td>1,466</td> <td>1,150</td> <td>2,457</td> <td></td> </tr> </table>						がん相談件数 (単位: 件)							区分	H21	H22	H23	H24	H25		がん相談	1,467	1,566	1,466	1,150	2,457		B	相談業務を総括する総合相談センターを組織上明確化して運用しており、中期目標が概ね達成されている。 地域がん診療連携拠点病院の役割として、がん相談をさらに充実させるため、外部からの相談を多く受けるべく広報する必要がある。がん患者カウンセリング料の施設基準を取得したので、円滑に運用・算定できる体制構築を行う。														
がん相談件数 (単位: 件)																																															
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																										
がん相談	1,467	1,566	1,466	1,150	2,457																																										

中期目標	中期計画	NO	区分	行動計画	業務の実績	自己評価																																																																									
						説明																																																																									
		17	総合	がん患者が受診後速やかに検査や手術を受けられる体制を構築するため、手術室、内視鏡室、放射線科のスタッフを増員する。	<ul style="list-style-type: none"> 化学療法も手術も放射線治療も十分に稼働している。 麻酔科医、放射線科医、消化器内科医の増員は実現できなかったが、H22に腫瘍内科医を1名確保できた。 <table border="1"> <caption>(単位：件)</caption> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来化学療法</td> <td>11,482</td> <td>12,436</td> <td>12,214</td> <td>12,603</td> <td>12,330</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>7,023</td> <td>7,504</td> <td>7,492</td> <td>7,184</td> <td>7,409</td> </tr> <tr> <td>全身麻酔手術</td> <td>3,085</td> <td>3,213</td> <td>3,359</td> <td>3,285</td> <td>3,441</td> </tr> <tr> <td>胃、大腸、乳がん手術</td> <td>685</td> <td>661</td> <td>649</td> <td>717</td> <td>689</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>14,437</td> <td>15,516</td> <td>15,064</td> <td>15,504</td> <td>15,077</td> </tr> <tr> <td>内視鏡検査・処置</td> <td>10,043</td> <td>11,687</td> <td>12,353</td> <td>11,306</td> <td>10,905</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>(単位：件)</caption> <thead> <tr> <th>P E T検査件数</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働日数(日)</td> <td>229</td> <td>230</td> <td>233</td> <td>232</td> <td>231</td> </tr> <tr> <td>実施数(院内)</td> <td>2,814</td> <td>3,139</td> <td>2,932</td> <td>3,090</td> <td>2,767</td> </tr> <tr> <td>実施数(院外)</td> <td>1,111</td> <td>1,270</td> <td>1,354</td> <td>1,403</td> <td>1,354</td> </tr> <tr> <td>一日平均件数</td> <td>17.7</td> <td>19.9</td> <td>19.9</td> <td>19.9</td> <td>17.8</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H21	H22	H23	H24	H25	外来化学療法	11,482	12,436	12,214	12,603	12,330	手術件数	7,023	7,504	7,492	7,184	7,409	全身麻酔手術	3,085	3,213	3,359	3,285	3,441	胃、大腸、乳がん手術	685	661	649	717	689	放射線治療	14,437	15,516	15,064	15,504	15,077	内視鏡検査・処置	10,043	11,687	12,353	11,306	10,905	P E T検査件数	H21	H22	H23	H24	H25	稼働日数(日)	229	230	233	232	231	実施数(院内)	2,814	3,139	2,932	3,090	2,767	実施数(院外)	1,111	1,270	1,354	1,403	1,354	一日平均件数	17.7	19.9	19.9	19.9	17.8	A	<p>化学療法、手術、放射線治療とも十分に提供できているため、中期目標が十分達成されている。</p> <p>平成22年度の内視鏡室の改修により、検査・治療の環境は向上した。放射線治療器械の増設は平成23年2月から稼働している。</p> <p>引き続き麻酔科医、放射線科医、消化器内科医の確保に努める。</p> <p>また、これら高度な医療機能を地域に開放する取り組みをより一層進めたい。</p>
区 分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																										
外来化学療法	11,482	12,436	12,214	12,603	12,330																																																																										
手術件数	7,023	7,504	7,492	7,184	7,409																																																																										
全身麻酔手術	3,085	3,213	3,359	3,285	3,441																																																																										
胃、大腸、乳がん手術	685	661	649	717	689																																																																										
放射線治療	14,437	15,516	15,064	15,504	15,077																																																																										
内視鏡検査・処置	10,043	11,687	12,353	11,306	10,905																																																																										
P E T検査件数	H21	H22	H23	H24	H25																																																																										
稼働日数(日)	229	230	233	232	231																																																																										
実施数(院内)	2,814	3,139	2,932	3,090	2,767																																																																										
実施数(院外)	1,111	1,270	1,354	1,403	1,354																																																																										
一日平均件数	17.7	19.9	19.9	19.9	17.8																																																																										
		18	総合	外来化学療法センターの拡充と環境整備を行うとともに、スタッフの専門性を向上する。	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度に外来化学療法センターの改修によりベッド数を11床増床し、余裕のある点滴を行えるようになるとともに、従来各外来診察室等で行っていた静脈注射、皮下注射についても機能の充実した同センターで行っている。 平成22年度に腫瘍内科医を1名確保できた。 専門の認定看護師と認定薬剤師を配置し、より安全・安心な医療の提供に努めている。 	A	<p>外来化学療法室の機能拡充により、患者サービスの向上と件数を維持しており、中期目標が十分達成されている。</p> <p>引き続き腫瘍内科の医師の確保に努める。</p>																																																																								
		19	総合	医師の増員を図るとともに、勤務体系にも配慮した当直・日直体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 医師の変則勤務の試行を継続し、当直明けに休める制度を整えた。 救命救急センター設置に向けて、施設改修・機器整備・人員確保に取り組み、平成25年度から救急科医師5名体制(うち専門医2名)を確保し、平成25年7月から救命救急センターが設置された。 <table border="1"> <caption>医師の変則勤務試行状況</caption> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当者(人)</td> <td>879</td> <td>1,372</td> <td>1,470</td> <td>1,455</td> <td>1,553</td> </tr> <tr> <td>利用者(人)</td> <td>332</td> <td>636</td> <td>758</td> <td>798</td> <td>858</td> </tr> <tr> <td>利用率(%)</td> <td>37.8</td> <td>46.4</td> <td>51.6</td> <td>54.8</td> <td>55.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H21は8月～3月</p>	区 分	H21	H22	H23	H24	H25	該当者(人)	879	1,372	1,470	1,455	1,553	利用者(人)	332	636	758	798	858	利用率(%)	37.8	46.4	51.6	54.8	55.2	A	<ul style="list-style-type: none"> 救急委員会を中心にして効果的な制度設計を検討し救急患者の受入体制を維持しており、中期目標が十分達成されている。 平成25年度に救急科医師が確保された。 医師の負担軽減策を検討する。 救命救急センターの運営が円滑に行われるように取り組む必要がある。 																																																
区 分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																										
該当者(人)	879	1,372	1,470	1,455	1,553																																																																										
利用者(人)	332	636	758	798	858																																																																										
利用率(%)	37.8	46.4	51.6	54.8	55.2																																																																										
		20	総合	救急車の受入を確実にできる診療体制を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> 平日昼間の救急外来の曜日別当番医師を定め、夜間・休日のみならず救急患者の受入体制を維持している。 <table border="1"> <caption>救急車受入率 (単位：%)</caption> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当番日</td> <td>98.8</td> <td>98.1</td> <td>98.1</td> <td>98.2</td> <td>97.4</td> </tr> <tr> <td>全 日</td> <td>95.0</td> <td>92.9</td> <td>91.3</td> <td>92.2</td> <td>91.9</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H21	H22	H23	H24	H25	当番日	98.8	98.1	98.1	98.2	97.4	全 日	95.0	92.9	91.3	92.2	91.9	A	<p>救急車の受入を断らない体制が維持されており、中期目標が十分達成されている。</p> <p>さらに救急科医師の確保に努めたい。</p>																																																						
区 分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																										
当番日	98.8	98.1	98.1	98.2	97.4																																																																										
全 日	95.0	92.9	91.3	92.2	91.9																																																																										

中期目標	中期計画			NO	区分	行動計画	業務の実績					自己評価																																																							
												説明																																																							
				(イ) 県立こころの医療センター・24時間を通して精神科救急医療相談に応じるとともに、救急患者を受け入れ、新たな入院患者が早期に退院し社会復帰できるよう支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の整備を図る。	21	こころ	精神科救急・急性期医療への対応強化を図るため、診療科体制や看護体制及び在宅医療支援体制を整備する。 また、入院患者を救急・急性期を中心とした重症者に特化し、平均在院日数の短縮を図る。	<p>・早期退院の促進と退院後も安定的な生活を維持するためには、入院中から地域生活を見据えた支援が必要とされることから、22年度から取組を始めた「精神科急性期ケアマネジメント」を継続実施している。</p> <p>また、在宅において、よりの確な支援を行うため、訪問看護の充実を図り、看護師に加えて精神保健福祉士や作業療法士などを含めた複数訪問を積極的に実施している。</p>	<p>平均在院日数 (単位:日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>100.1</td> <td>108.2</td> <td>118.2</td> <td>108.1</td> <td>116.0</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (医療観察法による患者を除く)</td> <td>-</td> <td>107.1</td> <td>111.7</td> <td>100.9</td> <td>108.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>1年以上入院患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年以上入院</td> <td>43</td> <td>41</td> <td>46</td> <td>55</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <p>訪問看護件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護件数</td> <td>1,433</td> <td>1,715</td> <td>1,803</td> <td>2,143</td> <td>2,698</td> </tr> <tr> <td>(うち複数訪問)</td> <td>53</td> <td>158</td> <td>192</td> <td>390</td> <td>369</td> </tr> </tbody> </table>					区分	H21	H22	H23	H24	H25	平均在院日数	100.1	108.2	118.2	108.1	116.0	平均在院日数 (医療観察法による患者を除く)	-	107.1	111.7	100.9	108.2	区分	H21	H22	H23	H24	H25	1年以上入院	43	41	46	55	45	区分	H21	H22	H23	H24	H25	訪問看護件数	1,433	1,715	1,803	2,143	2,698	(うち複数訪問)	53	158	192	390	369	<p>「精神科急性期ケアマネジメント」の継続、訪問看護等の取組みを進めたことにより、平均在院日数の短縮を図り、特に医療観察法病床を除いた平均在院日数は目標である100日に近付いており、中期目標が概ね達成されている。</p> <p>※入院期間が1年以上となる患者数が、23年度から24年度にかけて増加しているのは、入院期間が長期化する傾向にある医療観察法病床への入院患者数の増加とリンクしており、この増加分は想定されたものである。</p>					
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																														
平均在院日数	100.1	108.2	118.2	108.1	116.0																																																														
平均在院日数 (医療観察法による患者を除く)	-	107.1	111.7	100.9	108.2																																																														
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																														
1年以上入院	43	41	46	55	45																																																														
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																														
訪問看護件数	1,433	1,715	1,803	2,143	2,698																																																														
(うち複数訪問)	53	158	192	390	369																																																														
				新たな入院患者が90日以内に退院できるよう促進し、精神科救急入院料及び精神科急性期治療病棟入院料の施設基準を維持するとともに、急性期病棟から救急病棟へのランクアップを目指す。	22	こころ		<p>各病棟では、「新規患者率」、「新規患者3ヶ月以内在宅移行率」についての施設基準を、いずれも満たしている。</p>	<p>新規患者率 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>施設基準</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急 南2</td> <td>40%以上</td> <td>92.8</td> <td>89.0</td> <td>77.9</td> <td>85.8</td> <td>77.4</td> </tr> <tr> <td>急性期 北2</td> <td>40%以上</td> <td>52.2</td> <td>56.0</td> <td>61.2</td> <td>60.9</td> <td>68.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規患者3ヶ月以内在宅移行率 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>施設基準</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急 南2</td> <td>60%以上</td> <td>74.7</td> <td>71.6</td> <td>70.0</td> <td>80.2</td> <td>82.0</td> </tr> <tr> <td>急性期 北2</td> <td>40%以上</td> <td>72.7</td> <td>67.9</td> <td>71.2</td> <td>72.3</td> <td>78.2</td> </tr> </tbody> </table>					区分	施設基準	H21	H22	H23	H24	H25	救急 南2	40%以上	92.8	89.0	77.9	85.8	77.4	急性期 北2	40%以上	52.2	56.0	61.2	60.9	68.0	区分	施設基準	H21	H22	H23	H24	H25	救急 南2	60%以上	74.7	71.6	70.0	80.2	82.0	急性期 北2	40%以上	72.7	67.9	71.2	72.3	78.2	<p>早期治療、早期退院の実践により、救急病棟である南2病棟、急性期病棟から25年度に救急病棟へ転換する北2病棟ともに、求められる施設基準の水準を満たしており、中期目標が十分達成されている。</p>											
区分	施設基準	H21	H22	H23	H24	H25																																																													
救急 南2	40%以上	92.8	89.0	77.9	85.8	77.4																																																													
急性期 北2	40%以上	52.2	56.0	61.2	60.9	68.0																																																													
区分	施設基準	H21	H22	H23	H24	H25																																																													
救急 南2	60%以上	74.7	71.6	70.0	80.2	82.0																																																													
急性期 北2	40%以上	72.7	67.9	71.2	72.3	78.2																																																													
				精神科救急医療相談など総合的な医療相談の体制整備を図るとともに、広報誌等を活用したPRを行い利用推進を図る。	23	こころ		<p>県内全域を対象とする「精神科救急ダイヤル」を開設し、24時間体制で救急医療相談に対応した。</p>	<p>精神科救急ダイヤル件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全相談件数</td> <td>1,840</td> <td>1,747</td> <td>2,012</td> <td>2,458</td> <td>2,462</td> </tr> <tr> <td>うち時間外</td> <td>1,427</td> <td>1,277</td> <td>1,546</td> <td>1,951</td> <td>1,967</td> </tr> </tbody> </table>					区分	H21	H22	H23	H24	H25	全相談件数	1,840	1,747	2,012	2,458	2,462	うち時間外	1,427	1,277	1,546	1,951	1,967	<p>県内全域を対象とし、患者、家族だけでなく、医療機関や関係施設等などからの相談に対応し、救急ダイヤルとしての責務を果たした。 また、相談件数も着実に増加し、広報活動の成果が表れており、中期目標が十分達成されている。</p>																																			
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																														
全相談件数	1,840	1,747	2,012	2,458	2,462																																																														
うち時間外	1,427	1,277	1,546	1,951	1,967																																																														
				薬物療法による治療効果が低い重症患者に対する治療法として、m-ECT(修正型電気けいれん療法)を積極的に実施する。	24	こころ		<p>・m-ECTの治療は、21年7月に開始した後、毎年着実に実施件数が増加している。</p>	<p>m-ECT実施件数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">延件数(件)</th> <th rowspan="2">実患者数</th> <th colspan="5">地区別</th> </tr> <tr> <th>中部地区(静岡市)</th> <th>東部地区</th> <th>西部地区</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>192</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>(16)</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>258</td> <td>27</td> <td>22</td> <td>(13)</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>459</td> <td>37</td> <td>30</td> <td>(24)</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>565</td> <td>47</td> <td>44</td> <td>(33)</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>578</td> <td>56</td> <td>53</td> <td>(36)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>					区分	延件数(件)	実患者数	地区別					中部地区(静岡市)	東部地区	西部地区	その他	H21	192	26	22	(16)	2	0	2	H22	258	27	22	(13)	3	1	1	H23	459	37	30	(24)	4	3	0	H24	565	47	44	(33)	2	1	0	H25	578	56	53	(36)	1	1	1	<p>21年7月のm-ECT開始以後、治療件数は順調に増加し、当センターの施術として定着しており、中期目標が十分達成されている。 特に県中部、富士地区でm-ECTを実施しているのは当センターのみであり、中部地区を中心に患者を受け入れている。</p>	
区分	延件数(件)	実患者数	地区別																																																																
			中部地区(静岡市)	東部地区	西部地区	その他																																																													
H21	192	26	22	(16)	2	0	2																																																												
H22	258	27	22	(13)	3	1	1																																																												
H23	459	37	30	(24)	4	3	0																																																												
H24	565	47	44	(33)	2	1	0																																																												
H25	578	56	53	(36)	1	1	1																																																												

中期目標		中期計画			NO	区分	行動計画	業務の実績	自己評価																																																																			
									説明																																																																			
					25	こころ	治療抵抗性の症例に対する治療として、先端薬物療法（クロザピンなど）を積極的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・クロザピンによる治療体制が整い、22年4月27日、クロザリル適正使用委員会において、CPMS（クロザリル患者モニタリングサービス）登録機関として承認された。 ・平成23年度に作成したクリニカルパスに基づき、同年6月から治療を開始し、これまでに13名の患者に投与している。現在9名に対して継続投与中である。 	A	23年6月から治療を開始し、これまでに13名の患者に投与し、このうち9名が継続している。大きな治療効果が認められる症例も見られ、中期目標が十分達成されている。																																																																		
					26	こころ	心理・社会的治療についての実施体制を強化拡大する。	<p>22年度から取組を始めた認知行動療法プロジェクトについて、23年度から心理・社会的治療プロジェクトに発展させ、認知行動療法に加えて、新たに心理教育・家族教室への取組を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業へのスタッフの理解を深めるために、心理・社会的治療プロジェクト会議を定期的に開催（2カ月に1回） ・関係者の認識の共有化を図るための院内研修会の開催 ・平成24年3月、県下初の全国大会「心理教育・家族教室ネットワーク第15回研究集会」を浜松市で開催 	A	<p>定期的なプロジェクト会議の開催や、スタッフ間の認識を共有化させるための院内研修会の実施により、職員や関係者への着実な浸透を図ることができている。</p> <p>また、全国大会の開催により、先進的な事例・情報の収集や意見交換等を行うことができた。</p> <p>以上のことから、中期目標が十分達成されている。</p>																																																																		
					27	こころ	在宅医療支援部を中心とした包括的在宅ケア（ACT）チームによる退院支援と手厚い24時間365日サポート体制による退院後の地域生活支援モデルを構築し、継続実施する。	<p>21年度に作成したガイドラインに沿って、22年2月からACTによる支援を開始した。</p> <p>これまでに延15名の患者への支援活動を実施し、うち4名は安定した在宅生活に移行したため支援終了、2名は死亡により終了、現在は入院患者2名、外来患者6名への支援を継続している。</p>	A	21年度に実施したガイドラインの作成とモデルケースでの検証を受け、ACTとしての活動を開始し、その後、着実に事業を進めており、中期目標が十分達成されている。																																																																		
					28	こころ	医療観察法指定医療機関としての機能を最大限に発揮するよう体制強化を図る。	<p>21年8月より指定入院医療機関として2床で運用を開始し、23年3月末には12床へ増床した。</p> <p>増床後、対象患者の受入が進んだ結果、23年8月以降はほぼ満床の状態が継続している。</p> <p>医療観察法収支状況 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延患者数（人）</td> <td>711</td> <td>3,582</td> <td>4,287</td> <td>4,120</td> </tr> <tr> <td>病床利用率（％）</td> <td>97.4</td> <td>81.6</td> <td>97.9</td> <td>94.1</td> </tr> <tr> <td>入院単価（円／人）</td> <td>51,908</td> <td>50,901</td> <td>50,707</td> <td>50,115</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">収支状況</td> <td>医業収益</td> <td>128,991</td> <td>192,011</td> <td>217,686</td> <td>207,788</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>36,906</td> <td>182,329</td> <td>217,381</td> <td>206,475</td> </tr> <tr> <td>運営費負担金</td> <td>92,085</td> <td>9,682</td> <td>305</td> <td>1,313</td> </tr> <tr> <td>医業費用</td> <td>95,617</td> <td>184,804</td> <td>186,204</td> <td>182,710</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>92,085</td> <td>178,566</td> <td>179,889</td> <td>176,286</td> </tr> <tr> <td>薬品費</td> <td>758</td> <td>3,142</td> <td>3,211</td> <td>3,296</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>214</td> <td>631</td> <td>639</td> <td>663</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>2,560</td> <td>2,465</td> <td>2,465</td> <td>2,465</td> </tr> <tr> <td>医業収支</td> <td>33,374</td> <td>7,207</td> <td>31,482</td> <td>25,078</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H22	H23	H24	H25	延患者数（人）	711	3,582	4,287	4,120	病床利用率（％）	97.4	81.6	97.9	94.1	入院単価（円／人）	51,908	50,901	50,707	50,115	収支状況	医業収益	128,991	192,011	217,686	207,788	入院収益	36,906	182,329	217,381	206,475	運営費負担金	92,085	9,682	305	1,313	医業費用	95,617	184,804	186,204	182,710	人件費	92,085	178,566	179,889	176,286	薬品費	758	3,142	3,211	3,296	診療材料費	214	631	639	663	その他経費	2,560	2,465	2,465	2,465	医業収支	33,374	7,207	31,482	25,078	A	<p>指定入院医療機関として、21年8月に2床での運用開始以降、法令に沿った適正な運用が行われている。また、施設の拡充により機能の充実が図られ、患者一人一人に対応したきめ細かな治療プログラムの作成と、県内の対象患者の受入れが進んだ。</p> <p>年間を通じて満床に近い状態が続いており、収益もほぼ当初見込み通りに推移しているため、中期目標が十分達成されている。</p>
区分	H22	H23	H24	H25																																																																								
延患者数（人）	711	3,582	4,287	4,120																																																																								
病床利用率（％）	97.4	81.6	97.9	94.1																																																																								
入院単価（円／人）	51,908	50,901	50,707	50,115																																																																								
収支状況	医業収益	128,991	192,011	217,686	207,788																																																																							
	入院収益	36,906	182,329	217,381	206,475																																																																							
	運営費負担金	92,085	9,682	305	1,313																																																																							
	医業費用	95,617	184,804	186,204	182,710																																																																							
	人件費	92,085	178,566	179,889	176,286																																																																							
	薬品費	758	3,142	3,211	3,296																																																																							
	診療材料費	214	631	639	663																																																																							
	その他経費	2,560	2,465	2,465	2,465																																																																							
医業収支	33,374	7,207	31,482	25,078																																																																								

中期目標	中期計画			NO	区分	業務の実績						自己評価																												
						行動計画		業務の実績						説明																										
				(9) 県立こども病院 ・小児重症心疾患患者に対し、24時間を通して高度な先進的治療を提供する体制を整備する。加えて、小児心疾患治療のリーディング施設として専門医等の育成に努める。 ・地域の医療機関と連携して、ハイリスク胎児・妊婦を早期に把握、治療するための一貫した医療システムの構築に努めるとともに、新生児に対して、高度な先進的治療を提供するための体制を拡充する。 ・精神疾患を持つ小児患者やその家族に対して、児童精神科分野における中核的機能の発揮に努める。 ・24時間を通して重篤な小児救急患者の受入体制を強化するとともに、患者の重症度に応じ、地域の医療機関と分担して受け入れる体制づくりに協力する。 ・小児がん診療連携拠点病院として、高度な集学的治療に積極的に取り組む。	29	こども	心臓カテーテルによるインターベンション（内科的治療操作）の実施件数の増加を図る。	<p>・小児重症心疾患患者に対し、高度で先進的な治療を提供するため、身体への負担が小さく、入院も短期間で済むカテーテル治療の体制整備を行った。</p> <p>・平成21年9月「動脈管開存症閉鎖セット」の学会認定を取得（県内で1番目）した。</p> <p>カテーテル治療実績 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施件数</td> <td>117</td> <td>126</td> <td>138</td> <td>144</td> <td>121</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H21	H22	H23	H24	H25	実施件数	117	126	138	144	121	A	特に新しい治療法（カテーテルインターベンション）を開始し、他県の医療機関に依頼していた患者をこども病院で治療することができるようになったことから中期目標が十分達成されている。													
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																			
実施件数	117	126	138	144	121																																			
					30	こども	重症心疾患診療体制の充実を図る。	小児循環器集中治療医（CCU医）育成のため、研修プログラムを作成し実践した。						A	豊富な症例を背景に若手医師教育を行っている。特に小児CCU医の育成機能を有するのは全国でも当院のみであり、注目され多数の研修希望・見学依頼があることから中期目標が十分に達成されている。																									
					31	こども	新生児未熟児科医の増員などにより、高度新生児医療の強化を図る。	<p>・平成24年2月に病棟改修工事を実施、NICU病床数を12床から15床に増床し、新生児未熟児医療の需要増に対応した。また、改修工事に合わせ、患者監視システムも最新の機器に更新した。</p> <p>・脳低温療法や、新たな人工透析（超低体重児用毒素吸着除去療法）の導入など、最新の治療を行った。</p> <p>NICU・GCU稼働状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新入室患者数</th> <th>延患者数(人)</th> <th>1日平均患者数(人)</th> <th>病床利用率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>301</td> <td>10,131</td> <td>27.7</td> <td>92.2</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>240</td> <td>9,463</td> <td>25.9</td> <td>86.4</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>258</td> <td>10,581</td> <td>29.0</td> <td>87.8</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>263</td> <td>10,910</td> <td>29.9</td> <td>86.8</td> </tr> </tbody> </table>						年度	新入室患者数	延患者数(人)	1日平均患者数(人)	病床利用率(%)	H22	301	10,131	27.7	92.2	H23	240	9,463	25.9	86.4	H24	258	10,581	29.0	87.8	H25	263	10,910	29.9	86.8	A	医師数の減少から平成21年度には一時受け入れを制限したが、極低体重出生児等他病院では対応が難しい児の治療を引き受ける等、診療需要は高まっており、特にNICUにおいては、15床に増床後もほぼ100%の病床利用率が続いていることから中期目標が十分に達成されている。
年度	新入室患者数	延患者数(人)	1日平均患者数(人)	病床利用率(%)																																				
H22	301	10,131	27.7	92.2																																				
H23	240	9,463	25.9	86.4																																				
H24	258	10,581	29.0	87.8																																				
H25	263	10,910	29.9	86.8																																				
					32	こども	地域の産科医療機関との検討会・研修会を通じて、産科医の診断能力向上を支援する。	<p>地域医療機関を対象に、症例検討会、出張講習会、『羽衣セミナー』等を毎年度開催している。</p> <p>上記の研修会等により、より円滑な患者の受け入れ、引き渡しを検討し、実践した。</p> <p>検討会等の参加者数実績(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>症例検討会</td> <td>—</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>出張講習会</td> <td>37</td> <td>117</td> <td>114</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>羽衣セミナー</td> <td>73</td> <td>104</td> <td>172</td> <td>143</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H22	H23	H24	H25	症例検討会	—	30	31	130	出張講習会	37	117	114	58	羽衣セミナー	73	104	172	143	A	特に地域医療機関を対象とした研修会、検討会の開催について病院をあげて取り組み地域の医療機関のレベルアップに寄与していることから中期目標が十分に達成されている。					
区分	H22	H23	H24	H25																																				
症例検討会	—	30	31	130																																				
出張講習会	37	117	114	58																																				
羽衣セミナー	73	104	172	143																																				
					33	こども	県内の児童精神科医療の中核機関として、外来・入院治療の充実を図る。	<p>・平成21年4月から、「こどもと家族のこころの診療センター」に36床の病棟を設置し、入院治療を開始した。</p> <p>・「こどもと家族のこころの診療センター」では、「子どものストレスケアクリニック」「摂食障害外来」の設置により、外来・入院患者数増加を図った。</p> <p>【こども】 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>8,815</td> <td>10,408</td> <td>7,939</td> <td>10,206</td> <td>10,688</td> </tr> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>10,687</td> <td>11,682</td> <td>11,383</td> <td>11,583</td> <td>12,188</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H21	H22	H23	H24	H25	入院延患者数	8,815	10,408	7,939	10,206	10,688	外来延患者数	10,687	11,682	11,383	11,583	12,188	A	身体のみならず、こころの面も診療する体制が確立され、小児のほぼ全ての疾患に対応が可能となったこと、特に入院患者に対応する病棟を整備したこと、中期目標が十分に達成された。							
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																			
入院延患者数	8,815	10,408	7,939	10,206	10,688																																			
外来延患者数	10,687	11,682	11,383	11,583	12,188																																			

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績					自己評価																																																										
				行動計画					説明																																																										
		34	こども	厚生労働省の「子どもの心の診療ネットワーク事業」に静岡県の拠点病院として参加する。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業参加している全国15都県（平成26年3月現在）の拠点病院の一つとして、平成20年度のモデル事業開始当初から参加。急増する子どもの心の問題に関するネットワーク構築のため、学校・地域との連携強化に努めた。 <p>開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象・実施時期等</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">精神保健講座</td> <td>県内小中学校教諭</td> <td>5回</td> <td>5回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>隔月実施（年5回）</td> <td>242人</td> <td>138人</td> <td>153人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">児童養護施設巡回相談</td> <td>子ども・家族</td> <td>10施設</td> <td>10施設</td> <td>8施設</td> </tr> <tr> <td>月2回実施（年24回）</td> <td>20回</td> <td>20回</td> <td>16回</td> </tr> </tbody> </table>					区分	対象・実施時期等	H23	H24	H25	精神保健講座	県内小中学校教諭	5回	5回	5回	隔月実施（年5回）	242人	138人	153人	児童養護施設巡回相談	子ども・家族	10施設	10施設	8施設	月2回実施（年24回）	20回	20回	16回	A	教育現場からの要望をうけ、養護施設精神保健講座、巡回相談を実施する等県内におけるこども精神保健ネットワークの中核機能を果たしていることで中期目標が十分達成されている。																																	
区分	対象・実施時期等	H23	H24	H25																																																															
精神保健講座	県内小中学校教諭	5回	5回	5回																																																															
	隔月実施（年5回）	242人	138人	153人																																																															
児童養護施設巡回相談	子ども・家族	10施設	10施設	8施設																																																															
	月2回実施（年24回）	20回	20回	16回																																																															
		35	こども	PICU（小児集中治療センター）・救急総合診療科を中心として小児救急医療体制の強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・高次小児救急に対応する小児集中治療科の設置に続き、平成21年4月には救急総合診療科が開設され、幅広い小児救急患者に対応した。また、救急総合診療科は後期臨床研修医指導の中心的役割を担った。 ・平成22年には厚生労働省から小児救命救急センターの指定を受け、平成23年9月に救急医療に関する知事表彰を受賞した。 ・静岡市2次救急輪番病院に参加（救急総合診療科が担当）し、地域の救急医療に貢献した。 ・平成25年6月に小児救急センターを開設し、24時間365日を通して初期救急も含めた小児救急患者受入体制を整備した。 					A	特に全国的に注目を集めているPICUはドクターヘリ等による24時間365日の受け入れ体制をとっており、小児救急医療の最後の砦として高い評価を得ていることから中期目標が十分達成されている。																																																								
		36	こども	患者の重症度に応じた地域の医療機関との機能分担を推進するため、地域の救急医療機関や消防機関との検討会を定期的に開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県小児救命救急研究会の年2回主催やPALS研修会、救急救命士再教育病院実習等を実施し、医師、看護師、救急隊員を指導、県下の小児救急医療・集中治療の質の向上、施設間の交流を図った。 <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児集中治療ブートキャンプ</td> <td>-</td> <td>30</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>PALS（小児の2次救命処置）研修会</td> <td>-</td> <td>24</td> <td>14</td> <td>40</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>小児救命救急研究会</td> <td>140</td> <td>160</td> <td>28</td> <td>85</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>救急救命士再教育病院実習</td> <td>-</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>					区分	H21	H22	H23	H24	H25	小児集中治療ブートキャンプ	-	30	中止	-	-	PALS（小児の2次救命処置）研修会	-	24	14	40	30	小児救命救急研究会	140	160	28	85	193	救急救命士再教育病院実習	-	24	18	14	12	A	研修会、講習会の実施により、県内医師、看護師、救急救命士の技術向上が図られたことから、中期目標が十分達成されている。																										
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																														
小児集中治療ブートキャンプ	-	30	中止	-	-																																																														
PALS（小児の2次救命処置）研修会	-	24	14	40	30																																																														
小児救命救急研究会	140	160	28	85	193																																																														
救急救命士再教育病院実習	-	24	18	14	12																																																														
		37	こども	静岡県小児がん拠点病院として血液腫瘍に対しては、骨髄・末梢血幹細胞・臍帯血移植などの治療法を利用して対応する。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年7月に静岡県小児がん拠点病院として指定された。 ・小児がん診療拠点病院として、関係診療科の協働・連携による「腫瘍カンファレンス」を開催し、集学的治療の推進に努めた。 ・術後5年生存率は世界標準を上回っており、高度な技術水準を擁している。 <p>移植件数 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>骨髄移植</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>臍帯血</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自家末梢血</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>同種末梢血</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>○治療成績 (5年生存率) (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>1996～2000</th> <th>2001～2005</th> <th>2006～2010</th> <th>世界標準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性リンパ性白血病</td> <td>80.1</td> <td>78.5</td> <td>89.1</td> <td>75～80</td> </tr> <tr> <td>急性骨髄性白血病</td> <td>69</td> <td>77.8</td> <td>69.3</td> <td>50～60</td> </tr> <tr> <td>悪性リンパ腫</td> <td>77</td> <td>86.5</td> <td>100</td> <td>50～70</td> </tr> </tbody> </table>					区分	H21	H22	H23	H24	H25	骨髄移植	8	8	5	9	8	臍帯血	1	2	4	0	1	自家末梢血	3	3	3	4	2	同種末梢血	0	0	1	0	1	計	12	13	13	13	12	区分	1996～2000	2001～2005	2006～2010	世界標準	急性リンパ性白血病	80.1	78.5	89.1	75～80	急性骨髄性白血病	69	77.8	69.3	50～60	悪性リンパ腫	77	86.5	100	50～70	A	県内小児がん患者のほとんどに対応し、固形がんについても脳神経外科等他科との連携のもと対応していることで、中期目標が十分達成されている。
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																														
骨髄移植	8	8	5	9	8																																																														
臍帯血	1	2	4	0	1																																																														
自家末梢血	3	3	3	4	2																																																														
同種末梢血	0	0	1	0	1																																																														
計	12	13	13	13	12																																																														
区分	1996～2000	2001～2005	2006～2010	世界標準																																																															
急性リンパ性白血病	80.1	78.5	89.1	75～80																																																															
急性骨髄性白血病	69	77.8	69.3	50～60																																																															
悪性リンパ腫	77	86.5	100	50～70																																																															

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績					自己評価																																														
				行動計画					説明																																														
2 医療に関する調査及び研究 本県の医療水準の向上や県民の健康意識の醸成が図られるよう、調査及び研究に取り組むこと。	2 医療に関する調査及び研究 県内医療水準の向上に寄与するとともに、県立病院として医療の質の向上や人材育成のため、病院が有する医療資源の活用、院外への情報発信、他の機関との連携を図りながら、調査及び研究に取り組む。また、それらを円滑に進めるため、診療録の電子化等の医療情報基盤を整備する。																																																						
(1) 診療等の情報の活用 診療等を通じて得られる情報を県立病院で提供する医療の質の向上のために活用するとともに、他の医療機関へ情報提供すること。	(1) 診療等の情報の活用 診療録等医療情報の電子化や管理機能の充実を図るなど、エビデンスを集積し、カンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用し医療の質の向上を図る。また、学会、講習会、研究会等へ情報発信しやすい体制を整備する。	38	3病院(総務)	診療情報管理機能の強化を図るため、診療情報管理業務に専門的に携わる職員を配置する。	・診療情報管理士の配置やOJTによる指導により、診療情報管理機能の強化を図ることができた。 ・また、さらなる体制強化のため、事務職員（機構採用）の診療情報管理士資格の取得を推奨し、受験資格となる通信教育の受講を職務命令している。 診療情報管理室等への配置状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>(1) 2</td> <td>(1) 2</td> <td>(1) 3</td> <td>(1) 3</td> <td>(2) 3</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>(1) 1</td> <td>(3) 4</td> <td>(3) 4</td> <td>(3) 4</td> <td>(3) 6</td> </tr> </tbody> </table> ※ () 内の内書きは、事務職員の人数 診療情報管理士通信講座新規受講者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>-</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> ※病院名は、各年度の所属で表示	区分	H21	H22	H23	H24	H25	総合	(1) 2	(1) 2	(1) 3	(1) 3	(2) 3	こころ		1	1	0	0	こども	(1) 1	(3) 4	(3) 4	(3) 4	(3) 6	区分	H21	H22	H23	H24	H25	総合	-	2	4	3	2	こころ	-		1			こども	-	3	4	3	2	A	診療情報管理士や診療記録管理者の配置により、診療録情報の管理体制を整えることができ、中期目標が十分達成されている。
				区分	H21	H22	H23	H24	H25																																														
		総合	(1) 2	(1) 2	(1) 3	(1) 3	(2) 3																																																
こころ		1	1	0	0																																																		
こども	(1) 1	(3) 4	(3) 4	(3) 4	(3) 6																																																		
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																		
総合	-	2	4	3	2																																																		
こころ	-		1																																																				
こども	-	3	4	3	2																																																		
電子カルテの導入により、業務の効率化・チーム医療の推進を図る。【こども病院】	・電子カルテシステムが平成22年9月21日に本格稼働に至り、病院内チーム診療スタッフ間データ共有や、画像や検査結果を患者に提示してのインフォームドコンセントが可能となり医療の質向上に寄与できた。 ・業務の効率化としてカルテ検索業務の大幅な減少や電子カルテ端末上より検査画像の参照が可能となりフィルムの削減の効果があつた。 【こども】 X線フィルム購入実績（単位：千円） <table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成23年度</td> <td>12,167</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>592</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>削減率</td> <td>99.2%</td> </tr> </tbody> </table> *平成24年度からフィルムレス本格実施	平成23年度	12,167	平成24年度	592	平成25年度	102	削減率	99.2%	A	電子カルテシステム、サーバー及びクライアント類はおおむね安定稼働していることと、病院内医療スタッフの間での運用も比較的スムーズに浸透していることで、中期目標が十分達成されている。																																												
平成23年度	12,167																																																						
平成24年度	592																																																						
平成25年度	102																																																						
削減率	99.2%																																																						
40	3病院(企画)	公的病院としての説明責任・透明性の確保に努める。（不採算疾患例の明示、原価計算）	・総合病院において原価計算システムを導入し、検証や見直しを図りながら定期的にデータを蓄積した。 ・長期的にデータの推移を比較することで経営状況の分析が可能となる。 ・現システムでは、他院とのベンチマーク比較が出来ない点が課題である。	B	・システムを活用した経営分析については、データの精度向上のため随時見直しを行っている段階という点もあり、今後の課題であるが、システムの定期的な運用という点で一定の成果をあげており、中期計画が概ね達成されている。																																																		
41	各病院	・医療水準の向上と院内における医療の質の高度化に資するため、新薬開発や臨床研究などへ参画する。 ・臨床試験管理センターによる臨床研究の支援	【総合】 ・厚生労働科学研究への参加 分担研究 H21, H22, H23各4件、H24 3件 ・平成22年度から、厚生労働省の「医療の質の評価・公表等推進事業」の対象団体3団体のうち、日本病院会の30病院の1病院として事業に参加することとし、11の指標データの提供を行った。 医薬品受託研究事業費・契約件数（単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>25件</td> <td>23件</td> <td>23件</td> <td>24件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>契約額</td> <td>62,631</td> <td>61,650</td> <td>58,281</td> <td>81,305</td> <td>71,394</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>契約額</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>53</td> <td>53</td> <td>537</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>20件</td> <td>21件</td> <td>21件</td> <td>24件</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>契約額</td> <td>15,436</td> <td>5,906</td> <td>8,749</td> <td>10,220</td> <td>8,405</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	H24	H25	総合	25件	23件	23件	24件	29件	契約額	62,631	61,650	58,281	81,305	71,394	こころ	1件	0件	1件	1件	2件	契約額	17	0	53	53	537	こども	20件	21件	21件	24件	21件	契約額	15,436	5,906	8,749	10,220	8,405	A	【総合】 厚生労働科学研究などに参加することを通じ、医療水準の向上に努めており、中期目標が十分達成されている。 引き続き、医療水準の向上に資する臨床研究への取組を行っていく。								
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																		
総合	25件	23件	23件	24件	29件																																																		
契約額	62,631	61,650	58,281	81,305	71,394																																																		
こころ	1件	0件	1件	1件	2件																																																		
契約額	17	0	53	53	537																																																		
こども	20件	21件	21件	24件	21件																																																		
契約額	15,436	5,906	8,749	10,220	8,405																																																		

中期目標	中期計画	NO	区分	行動計画	業務の実績	自己評価																																																																																																																												
						説明																																																																																																																												
(2) 県民への情報提供の充実 公開講座や医療相談などを通じて調査及び研究の成果を県民へ情報発信し、県民の健康意識の高揚に努めること。	(2) 県民への情報提供の充実 定期的に公開講座、医療相談会等を開催するとともに、ホームページ等で健康管理・増進などについての情報を提供するなど、様々な方法で県民への情報提供を進める。	42	3病院 (企画)	県民向け・医療機関向けの公開講座等を開催する。	<p>・総合病院のがんに関する講演会、こころの医療センターの精神保健福祉ボランティア養成講座、こども病院の小児疾患に関する講座等、各病院にて特色を生かした公開講座等を企画・開催している。</p> <p>公開講座の開催件数・参加人数 (単位：回、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">H21</th> <th colspan="2">H22</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>件数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>県民向け</td> <td>3</td> <td>513</td> <td>5</td> <td>669</td> <td>6</td> <td>744</td> <td>5</td> <td>407</td> <td>6</td> <td>488</td> </tr> <tr> <td>医療機関向け</td> <td>2</td> <td>545</td> <td>3</td> <td>423</td> <td>3</td> <td>225</td> <td>6</td> <td>450</td> <td>12</td> <td>564</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5</td> <td>1,058</td> <td>8</td> <td>1,092</td> <td>9</td> <td>969</td> <td>11</td> <td>857</td> <td>18</td> <td>1,052</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こころ</td> <td>県民向け</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>327</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>2</td> <td>18</td> <td>6</td> <td>357</td> </tr> <tr> <td>医療機関向け</td> <td>1</td> <td>68</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>39</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1</td> <td>68</td> <td>3</td> <td>327</td> <td>2</td> <td>22</td> <td>3</td> <td>57</td> <td>6</td> <td>357</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こども</td> <td>県民向け</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>91</td> <td>2</td> <td>91</td> <td>7</td> <td>345</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>医療機関向け</td> <td>3</td> <td>142</td> <td>3</td> <td>108</td> <td>7</td> <td>188</td> <td>7</td> <td>265</td> <td>17</td> <td>724</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>142</td> <td>5</td> <td>199</td> <td>9</td> <td>279</td> <td>14</td> <td>610</td> <td>17</td> <td>724</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21		H22		H23		H24		H25		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	総合	県民向け	3	513	5	669	6	744	5	407	6	488	医療機関向け	2	545	3	423	3	225	6	450	12	564	計	5	1,058	8	1,092	9	969	11	857	18	1,052	こころ	県民向け	0	0	3	327	1	16	2	18	6	357	医療機関向け	1	68	0	0	1	6	1	39	0	0	計	1	68	3	327	2	22	3	57	6	357	こども	県民向け	0	0	2	91	2	91	7	345	0	0	医療機関向け	3	142	3	108	7	188	7	265	17	724	計	3	142	5	199	9	279	14	610	17	724	A	公開講座の開催を通じて、県民・県内医療機関に対して、最新医療に関する情報提供を行うことができたと同時に、県立病院の取組みについてもPRすることができ、中期目標が十分達成されている。
				区分	H21		H22		H23		H24		H25																																																																																																																					
					件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数																																																																																																																				
総合	県民向け	3	513	5	669	6	744	5	407	6	488																																																																																																																							
	医療機関向け	2	545	3	423	3	225	6	450	12	564																																																																																																																							
	計	5	1,058	8	1,092	9	969	11	857	18	1,052																																																																																																																							
こころ	県民向け	0	0	3	327	1	16	2	18	6	357																																																																																																																							
	医療機関向け	1	68	0	0	1	6	1	39	0	0																																																																																																																							
	計	1	68	3	327	2	22	3	57	6	357																																																																																																																							
こども	県民向け	0	0	2	91	2	91	7	345	0	0																																																																																																																							
	医療機関向け	3	142	3	108	7	188	7	265	17	724																																																																																																																							
	計	3	142	5	199	9	279	14	610	17	724																																																																																																																							
県民向けイベントへの開催・参加 【総合・こども病院】	<p>・県民にこども病院の活動を知っていただき、身近な病院として認識していただくため、毎年ツインメッセで行われた静岡県等が子育て世代を対象に主催する「こどもみらいプロジェクト」に参加。健康相談コーナー、写真撮影コーナー、ファシリテッドタッチコーナー等を設置し、こども病院のPRを行った。</p> <p>・静岡県立総合病院の機能、設備、職員の姿を知ってもらうことにより、県民に開かれた病院であることを示しながら、本院の存在意義をより理解してもらうことを目的として、県立総合病院の開院記念月が2月であることから、平成21年度より毎年2月に県民向け病院開放イベント「オープンホスピタル」を開催している。また平成22年度から県の「富士山の日」協力事業のイベントとして協力している。</p>	A	県民向けのイベントへ参加することにより、多くの県民にこども病院を知っていただく機会となった。独法化以降開催している静岡県立総合病院のオープンホスピタルは、多数の参加者に、病院の施設や取組、最新の医療等の情報を提供する場となり、来場者からも好評を得ている。以上により、中期目標が十分達成されている。																																																																																																																															
県民及び他の医療機関従事者に、県立病院機構の有する医療情報等を積極的に提供するため、機構ホームページを適時、的確に更新する。	<p>・県立病院機構発足にあたり、機構独自のホームページを構築した。</p> <p>・機構ホームページとリンクする3病院のホームページのイメージの共有化を図るとともに、県民や他の医療機関従事者が理解しやすいように、各病院のホームページの整理、充実を行った。</p> <p>・携帯用のホームページを立ち上げ、特に、機構への就職を希望する新規応募者に向けて、情報発信の充実を図った。</p> <p>・ホームページにアクセスカウンター設置し、ページ毎のアクセス数をチェックするとともに、それらを各病院においても確認可能として、更新の更なる推進を図った。</p> <p>・各病院の医療情報やトピックスを県民等に向けてできるだけ早く情報提供するため、各病院ホームページを適時更新するとともに、本部においては、入札情報や機構への就職希望者向けの情報などを適時更新するなど、ホームページの活用を図った。</p> <p>ホームページ更新件数 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>更新件数</td> <td>756</td> <td>1,489</td> <td>1,895</td> <td>2,200</td> <td>2,376</td> </tr> </tbody> </table> <p>ホームページアクセス件数 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクセス件数</td> <td>204,507</td> <td>2,794,798</td> <td>3,033,242</td> <td>3,298,103</td> <td>3,667,844</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	H24	H25	更新件数	756	1,489	1,895	2,200	2,376	区分	H21	H22	H23	H24	H25	アクセス件数	204,507	2,794,798	3,033,242	3,298,103	3,667,844	A	ホームページの構築、構築後はホームページの更新及びアクセス件数が順調な伸びを示し、情報提供は着実に推進しており、中期目標が十分達成されている。																																																																																																							
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																																																																													
更新件数	756	1,489	1,895	2,200	2,376																																																																																																																													
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																																																																													
アクセス件数	204,507	2,794,798	3,033,242	3,298,103	3,667,844																																																																																																																													

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績					自己評価													
				行動計画		業務の実績					説明											
		45	3病院 (企画)	県民に病院の運営にかかる情報を戦略的に広報するため、報道機関向けの情報発信の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・最先端医療への取組や各病院で開催する県民向けの公開講座や各種イベントなどについて、記者クラブへの積極的な情報提供を行い、情報発信の推進を図った。 ・県立病院機構の現況を県政記者クラブの各記者に、より深く理解していただくために、県政記者クラブ向けの「県立病院機構の現況説明会」を実施し、10社11名の参加を得た。 ・県民の代表である県議会議員に対し「機構の現況説明会」を開催し、機構の経営状況や各病院における取組、トピックス等を情報提供するとともに、県議会議員との意見交換を行った。 ・改正臓器移植法の施行に伴い、こども病院が臓器提供病院となったため、臓器移植にかかる勉強会をこども病院と県政記者クラブ共催で実施した。 					A												
					<p style="text-align: right;">(単位：件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提供件数</td> <td>25</td> <td>44</td> <td>52</td> <td>49</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table>					区分	H21	H22	H23	H24	H25	提供件数	25	44	52	49	46	
区分	H21	H22	H23	H24	H25																	
提供件数	25	44	52	49	46																	
(3) 産学官連携等への協力 富士山麓先端健康産業集積(ファルマバレー)プロジェクトなど、治験や産学官の連携による研究開発事業に積極的に協力すること。	(3) 産学官連携等への協力 治験や調査研究事業に積極的に参画できるよう体制を整備し、受託件数の増加を図る。また、県立大学との共同研究にも取り組む。	46	各病院	県立大学との共同研究を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合病院循環器病センター6階に県立大学薬学部の臨床薬学教室、臨床薬効解析学教室の2つの教室、薬剤部内に医薬品情報解析学教室分室が設置され、総合病院薬剤部との共同研究を行う体制を取っている。 ＜実施共同研究＞ 【薬学部】 ・「ワルファリンカリウムなどの薬剤の効き目の遺伝子との関連」 ・「免疫抑制剤シクロスポリンの血中濃度」 ・「テイコプラニン投与設計」 ・「抗悪性腫瘍剤TS-1の薬効及び副作用発現に関連する遺伝子解析研究」 ・「薬酸製剤の安定性に関する研究」 【食品栄養科学部】 ・「透析患者の透析時および非透析時における栄養素の代謝動態の評価」 ・「通院および入院の透析患者の栄養状態の評価および個人に適した栄養管理マニュアルの構築」 【看護学科】 ・「結腸がんにより手術を受けた患者の退院後2ヵ月の身体的、心理的状況の検討」 ・「看護ケアからみえる家族の代替可能性」 					A												
					<p>研究の一部は国内外へ論文発表が行われる等、共同研究の成果が確認でき、中期目標が十分達成されている。</p> <p>より一層、患者に役立つ臨床研究の成果が期待される。</p>																	

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績		自己評価																																																		
				行動計画		説明																																																		
3 医療に関する技術者の研修 優秀な医療従事者の確保と育成を図るため、国内外との交流を含め、研修の充実を図ること。	3 医療に関する技術者の研修 県立病院が提供する医療の質の向上を図り、最適な医療を安全に提供するため、国内外の医療機関との交流、教育研修機能の充実など、医療従事者の研修に積極的に取り組むとともに、それらを院外にも開放していく。																																																							
(1) 医療従事者の研修の充実 医療の高度化に対応した優秀な医療従事者を確保及び育成するため、医療従事者に評価され、選ばれる病院となるよう研修の充実を図ること。	(1) 医療従事者の研修の充実 県立総合病院のメディカルスキルアップセンターの利活用を含め、実効性のある教育研修プログラムの開発、実施を計画的に進めるとともに、病院内における教育研修体制を強化する。また、国内外の医療機関との交流を進める。	47	3病院 (総務)	○医師 ・医師の技術力の向上を目指し、海外研修等を奨励する。 ・医師の卒後臨床研修等の強化を図り、県立病院に相応しい医療従事者を確実に確保し、充足させる。	・海外研修および国内医療機関での研修への参加により、研修内容の充実および医療機関との交流を図ることができた。 【海外研修の主な実績】 (総 合) 世界肺癌学会、ヨーロッパ肩肘学会、海外学会演習発表、卒後臨床研修医UCLA研修 International Learner Program 国際熱帯小児科学トレーニングコース 【国内医療機関での研修の主な実績】 (総 合) 卒後臨床研修医地域医療研修の実施(佐久間病院、山の上病院、伊豆今井浜病院、地元の診療所、保健所等) 手術研修への参加(札幌医科大学附属病院、国際医療大学三田病院等) (こころ) 心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関医療評価・向上事業への参加(山口県立こころの医療センター、独立行政法人国立病院機構菊池病院) (こども) 一般小児科研修の実施(済生会総合病院、焼津市立総合病院、聖隷三方原病院) 臨床研修の実施(静岡県立がんセンター) ・海外の学会に治療実績等の発表を行い、技術力の高さを示した ・複数のセッションを回ることができる仕組みを構築し、研修生の希望に沿ったプログラムを提供する体制を整備した。	A	医師を対象とした「研究事業費」を拡充し、研究や海外研修に必要な予算・制度を整えており、中期目標が十分達成されている。																																																	
(2) 医師の卒後臨床研修等の充実 特に医師不足に対応するため、より多くの医師を県立病院に確保及び育成し、県内の医療機関への定着の契機となるよう、医師の卒後臨床研修や専門研修の充実を図ること。	(2) 医師の卒後臨床研修等の充実 特色のある研修プログラムの開発とその推進体制を強化する。特に、専門分野の研修医については、県立病院が核となった県内病院間の研修ネットワークの構築など魅力あるプログラムを用意する。	48	3病院 (総務)	研修医の確保に努める。	卒後臨床研修医確保のために様々な取組みを実施している。 (主な取組み) ・卒後臨床研修評価機構の受審することにより基準を満たす研修体制の確立(総合) ・研修医を対象とした合同説明会への参加(3病院) ・研修プログラムの充実(総合)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">卒後臨床研修医の確保状況</th> <th colspan="5">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">総合</td> <td>面接数</td> <td>12</td> <td>26</td> <td>45</td> <td>40</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>マッチング数</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>採用数(次年度)</td> <td>5</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	卒後臨床研修医の確保状況		(単位：人)							H21	H22	H23	H24	H25	総合	面接数	12	26	45	40	39	マッチング数	7	11	14	16	21	採用数(次年度)	5	10	14	16	19	A	平成25年度における卒後臨床研修医の確保において、面接者数、採用者数が確実に増加しており、中期目標が十分達成されている。															
卒後臨床研修医の確保状況		(単位：人)																																																						
		H21	H22	H23	H24	H25																																																		
総合	面接数	12	26	45	40	39																																																		
	マッチング数	7	11	14	16	21																																																		
	採用数(次年度)	5	10	14	16	19																																																		
(3) 知識や技術の普及 県内の医療従事者の質の向上を図るため、県立病院が培った知識や技術を積極的に普及させること。また、医療従事者の養成に協力すること。	(3) 知識や技術の普及 医療従事者が他の機関・団体における研修や研究等の活動に参画しやすい仕組みづくりを進める。また、院内研修を含め教育研修機能については、県内の医療従事者へさらに開放していく。	49	3病院 (総務)	○看護師及びその他の医療従事者 ・スキルアップを図るため、認定看護師の育成のほか医療従事者等の研修等を推進する。	平成23年度から業務に関連する資格・免許の取得に対し、取得に必要な受験料等の補助制度を設け、資格取得の支援を図っている。 また、認定看護師については、取得に必要な約6月間の研修についても職務専念義務を免除(有給)し、取得支援を行っている。 (認定看護師の資格取得者については、No. 82に掲載) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">資格支援事業利用者</th> <th colspan="5">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>32</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>14</td> <td>43</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>	資格支援事業利用者		(単位：人)					区 分		H21	H22	H23	H24	H25	医師		-	-	-	-	-	看護師		-	-	2	32	29	コメディカル		-	-	7	10	6	事務		-	-	5	1	2	計		0	0	14	43	37	A	業務の専門性を高めるため、平成23年度に開始した資格資格等助成制度は、確実に増加し、職員のスキルアップに貢献しており、中期目標が十分達成されている。
資格支援事業利用者		(単位：人)																																																						
区 分		H21	H22	H23	H24	H25																																																		
医師		-	-	-	-	-																																																		
看護師		-	-	2	32	29																																																		
コメディカル		-	-	7	10	6																																																		
事務		-	-	5	1	2																																																		
計		0	0	14	43	37																																																		

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績					自己評価																																																																	
				行動計画					説明																																																																	
4 医療に関する地域への支援 県民の安心・安全を守るためには地域医療の確保が不可欠であることから、県立病院がその支援に大きな役割を果たし、地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう努めること。	4 医療に関する地域への支援 地域医療を確保するための支援の中心的機能を果たすため、県立病院が有する医療資源を積極的に活用するなど、必要な支援を進める。	50	総合	<p>かかりつけ医との連携を充実することにより、入院から在宅まで一貫した高度医療の提供や病状急変時における対応等が可能となるよう連携・機能分担体制を進める。</p> <p>・紹介率・逆紹介率・葉カード発行とも高い水準を維持している。</p> <p>【総合】 (単位：%)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr><td>紹介率</td><td>81.2</td><td>82.1</td><td>81.5</td><td>81.1</td><td>82.1</td></tr> <tr><td>逆紹介率</td><td>72.0</td><td>93.8</td><td>105.1</td><td>112.1</td><td>106.7</td></tr> </table> <p>葉カード発行枚数 (単位：枚)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr><td>発行枚数</td><td>456</td><td>349</td><td>441</td><td>444</td><td>448</td></tr> <tr><td>累計枚数</td><td>1,697</td><td>2,046</td><td>2,487</td><td>2,931</td><td>3,379</td></tr> </table>					区分	H21	H22	H23	H24	H25	紹介率	81.2	82.1	81.5	81.1	82.1	逆紹介率	72.0	93.8	105.1	112.1	106.7	区分	H21	H22	H23	H24	H25	発行枚数	456	349	441	444	448	累計枚数	1,697	2,046	2,487	2,931	3,379	A	<p>・高い紹介率・逆紹介率を維持しており、かかりつけ医との連携が充実しているため、中期目標が十分達成されている。</p> <p>・連携のツールとして情報通信技術を活用したシステムの運用が開始され、いっそうの充実が期待できる。</p>																												
				区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																	
		紹介率	81.2	82.1	81.5	81.1	82.1																																																																			
		逆紹介率	72.0	93.8	105.1	112.1	106.7																																																																			
		区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																			
発行枚数	456	349	441	444	448																																																																					
累計枚数	1,697	2,046	2,487	2,931	3,379																																																																					
51	総合	<p>心疾患、脳卒中、がん、慢性腎臓病、大腿骨頸部骨折を対象とした現行の地域連携クリニカルパス適用患者の充実を図る。</p> <p>地域連携クリニカルパス (単位：件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr><td>脳卒中</td><td>48</td><td>34</td><td>68</td><td>46</td><td>38</td></tr> <tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>90</td><td>66</td><td>109</td><td>132</td><td>110</td></tr> <tr><td>胃がん</td><td>85</td><td>54</td><td>96</td><td>113</td><td>93</td></tr> <tr><td>大腸がん</td><td>130</td><td>102</td><td>149</td><td>148</td><td>135</td></tr> <tr><td>乳がん</td><td>9</td><td>33</td><td>100</td><td>121</td><td>102</td></tr> <tr><td>前立腺がん</td><td>3</td><td>32</td><td>16</td><td>45</td><td>7</td></tr> <tr><td>虚血性心疾患</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>5</td><td>0</td></tr> <tr><td>慢性腎臓病</td><td>62</td><td>36</td><td>89</td><td>64</td><td>42</td></tr> <tr><td>肺がん</td><td>-</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>428</td><td>358</td><td>628</td><td>674</td><td>527</td></tr> </table>					区分	H21	H22	H23	H24	H25	脳卒中	48	34	68	46	38	大腿骨頸部骨折	90	66	109	132	110	胃がん	85	54	96	113	93	大腸がん	130	102	149	148	135	乳がん	9	33	100	121	102	前立腺がん	3	32	16	45	7	虚血性心疾患	1	0	0	5	0	慢性腎臓病	62	36	89	64	42	肺がん	-	1	1	0	0	計	428	358	628	674	527	A	<p>・地域連携クリニカルパスの適用推進により、関係機関との連携が行われており、中期目標が十分達成されている。</p> <p>・急性期のリハビリを充実させて、リハビリテーション病院の機能に連携させる必要がある。</p>
		区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																			
		脳卒中	48	34	68	46	38																																																																			
大腿骨頸部骨折	90	66	109	132	110																																																																					
胃がん	85	54	96	113	93																																																																					
大腸がん	130	102	149	148	135																																																																					
乳がん	9	33	100	121	102																																																																					
前立腺がん	3	32	16	45	7																																																																					
虚血性心疾患	1	0	0	5	0																																																																					
慢性腎臓病	62	36	89	64	42																																																																					
肺がん	-	1	1	0	0																																																																					
計	428	358	628	674	527																																																																					
52	総合	<p>リハビリテーション病院との連携強化等、病院間の機能分担を推進する。</p>					B	<p>逆紹介率は一部目標に届かない年もあったが、紹介率は目標を上回って推移しており、中期目標が概ね達成されている。</p> <p>今後も「よろず相談・地域連携スタッフ」を中心に、引き続き地域連携を図る必要がある。</p>																																																																		
		53	こころ	<p>地域の医療機関との連携を強化し、医療支援体制や救急・急性期、重症患者の受入など連携・機能分担体制の整備を推進する。</p> <p>紹介・逆紹介を相互に行い、地域の医療機関間の連携を図った。</p> <p>【こころ】 (単位：%)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr><td>紹介率</td><td>57.4</td><td>54.8</td><td>58.0</td><td>54.4</td><td>49.6</td></tr> <tr><td>逆紹介率</td><td>26.8</td><td>26.1</td><td>48.4</td><td>30.2</td><td>29.8</td></tr> </table>					区分	H21	H22	H23	H24	H25	紹介率	57.4	54.8	58.0	54.4	49.6	逆紹介率	26.8	26.1	48.4	30.2	29.8																																																
区分	H21			H22	H23	H24	H25																																																																			
紹介率	57.4	54.8	58.0	54.4	49.6																																																																					
逆紹介率	26.8	26.1	48.4	30.2	29.8																																																																					
(1) 地域医療への支援 遠隔診断の実施、高度医療機器の共同利用の促進など、地域医療の確保と連携への支援を行うこと。	(1) 地域医療への支援 情報通信技術を活用した遠隔診断のネットワークづくりを進める。また、高度医療機器などの共同利用など、県立病院の施設や設備について地域への開放を進める。	54	こども	<p>・地域医療連携室を中心に患者の紹介・逆紹介を推進する。</p> <p>・地域医療支援病院として、施設の院外医療関係者利用促進を図る。</p> <p>病診連携、病病連携を強化したことにより、紹介率、逆紹介率ともに着実に向上した。</p> <p>【こども】 (単位：%)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr><td>紹介率</td><td>87.9</td><td>96.0</td><td>94.6</td><td>94.1</td><td>94.8</td></tr> <tr><td>逆紹介率</td><td>30.7</td><td>31.5</td><td>39.1</td><td>39.3</td><td>49.9</td></tr> </table>					区分	H21	H22	H23	H24	H25	紹介率	87.9	96.0	94.6	94.1	94.8	逆紹介率	30.7	31.5	39.1	39.3	49.9	A	<p>紹介制の病院であるので、紹介率は高率を保っていることから、中期目標が十分に達成されている。</p>																																														
				区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																	
紹介率	87.9	96.0	94.6	94.1	94.8																																																																					
逆紹介率	30.7	31.5	39.1	39.3	49.9																																																																					
55	総合	<p>PET共同利用率については、地域診療機関への啓蒙活動を継続し、共同利用率の向上を図る。</p> <p>PETイメージングセンター共同利用 (単位：件、%)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr><td>件数</td><td>3,925</td><td>4,409</td><td>4,286</td><td>4,493</td><td>4,121</td></tr> <tr><td>共同利用件数</td><td>1,481</td><td>1,564</td><td>1,640</td><td>1,710</td><td>1,635</td></tr> <tr><td>共同利用率</td><td>37.7</td><td>35.5</td><td>38.3</td><td>38.1</td><td>39.7</td></tr> <tr><td>検診件数</td><td>132</td><td>175</td><td>108</td><td>117</td><td>108</td></tr> </table> <p>※検診はH21.7～</p>					区分	H21	H22	H23	H24	H25	件数	3,925	4,409	4,286	4,493	4,121	共同利用件数	1,481	1,564	1,640	1,710	1,635	共同利用率	37.7	35.5	38.3	38.1	39.7	検診件数	132	175	108	117	108	A	<p>・診療報酬の施設基準20%と比べて、高い共同利用率となっており、地域の医療機関に利用されており、中期目標が十分達成されている。</p> <p>・PET検診の提携先検診機関は4機関あり、福島原発事故の影響で一時的に減少したものの、順調に利用されている。</p>																																				
		区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																			
件数	3,925	4,409	4,286	4,493	4,121																																																																					
共同利用件数	1,481	1,564	1,640	1,710	1,635																																																																					
共同利用率	37.7	35.5	38.3	38.1	39.7																																																																					
検診件数	132	175	108	117	108																																																																					
56	総合	<p>地域の医療機関向けにCT・MRIの地域支援検査枠を増設し、共同利用件数の向上を図る。</p> <p>平成22年度から従来の紹介・逆紹介の方法に加えて、撮影のみ総合病院で行う共同利用方法をスタートさせた。</p> <p>CT、MRI共同利用 (単位：件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr><td>CT</td><td>1,038</td><td>991</td><td>1,064</td><td>949</td><td>833</td></tr> <tr><td>MRI</td><td>589</td><td>747</td><td>768</td><td>675</td><td>626</td></tr> <tr><td>CT(撮影のみ)</td><td>-</td><td>265</td><td>9</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>MRI(撮影のみ)</td><td>-</td><td>116</td><td>121</td><td>111</td><td>107</td></tr> </table>					区分	H21	H22	H23	H24	H25	CT	1,038	991	1,064	949	833	MRI	589	747	768	675	626	CT(撮影のみ)	-	265	9	8	8	MRI(撮影のみ)	-	116	121	111	107	A	<p>・CT、MRIともコンスタントに利用されており、中期目標が十分達成されている。</p> <p>・放射線科医（読影医）の確保に努める。</p>																																				
		区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																			
CT	1,038	991	1,064	949	833																																																																					
MRI	589	747	768	675	626																																																																					
CT(撮影のみ)	-	265	9	8	8																																																																					
MRI(撮影のみ)	-	116	121	111	107																																																																					

中期目標	中期計画	NO	区分	行動計画	業務の実績	自己評価																									
						説明																									
		57	こども	国内外の医療機関との映像情報を通じた研修や診断を実施する。	心エコー画像の遠隔診断を実施。重症心疾患患者の早期診断、早期治療に寄与した。 心エコー画像遠隔診断 (単位：件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>症例数</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H21	H22	H23	H24	H25	施設数	3	4	4	4	4	症例数	13	17	10	16	15	B	県内4医療機関と連携し24時間体制で画像診断を行っている。遠隔診断をリアルタイムで行えることにより、緊急の治療を行う必要がある症例に効果を発揮していることから、中期目標が十分に達成されている。 現在4病院とのやりとりであるが、連携には相手先医療機関の設備投資が必要であり、施設拡大の障害となっている。						
		区 分	H21	H22	H23	H24	H25																								
		施設数	3	4	4	4	4																								
		症例数	13	17	10	16	15																								
58	こども	遠隔診断による小児医療最適化事業の実施	・平成22年度総務省「地域情報通信技術利活用推進交付金」により映像通信システムを整備した。 ・映像送信による浜松医科大学との合同カンファレンスを実施した。(月1回程度) ・国立循環器病研究センターへ、当院のオペ室からカテーテル手術のライブ映像送信を行い、医療技術の紹介・連携の取組を実施した。	B	遠隔送信による映像について、診療に耐えうるクオリティの確保は立証できたことで、中期目標が概ね達成されている。今後の展開計画を練る必要がある。																										
59	こども	地域の医療機関等の看護師等への実習研修を継続実施する。	看護部に教育担当部長を配置し、積極的に看護師等の研修・実習受入を行った。 【こども】 実習研修受入れ状況 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入数</td> <td>187</td> <td>247</td> <td>301</td> <td>335</td> <td>321</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H21	H22	H23	H24	H25	受入数	187	247	301	335	321	A	看護師等の研修受け入れは、積極的に実施し、年々その数も増加していることから、中期目標が十分達成されている。														
区 分	H21	H22	H23	H24	H25																										
受入数	187	247	301	335	321																										
60	こども	講演会やセミナーなどを開催する。	【こども】 公開講演会開催件数 (単位：回、人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催件数</td> <td>16</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>—</td> <td>118</td> <td>279</td> <td>345</td> <td>724</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H21	H22	H23	H24	H25	開催件数	16	6	7	7	17	参加者数	—	118	279	345	724	A	講演会、セミナーは病院の課題等にタイムリーな内容で実施していることから、中期目標が十分に達成されている。								
区 分	H21	H22	H23	H24	H25																										
開催件数	16	6	7	7	17																										
参加者数	—	118	279	345	724																										
(2) 公的医療機関への医師の派遣協力 県立病院として、より多くの医師を確保し、医師不足の公的医療機関への派遣に積極的に協力すること。	(2) 公的医療機関への医師の派遣協力 県立病院の医師の増員を図り、公的医療機関への医師派遣協力がしやすい仕組みづくりを進める。	61	総合	地域医療支援病院としての使命を果たすため、医師を確保したうえで、医師不足が顕著な公的病院に医師を派遣する。	医師派遣の要望のある公的病院等に医師を派遣した。 医師派遣実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関(機関)</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>診療科(科)</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>延人員数(人)</td> <td>837</td> <td>911</td> <td>753</td> <td>682</td> <td>616</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H21	H22	H23	H24	H25	医療機関(機関)	8	11	10	12	10	診療科(科)	10	12	11	12	11	延人員数(人)	837	911	753	682	616	A	・医師派遣を行っており、中期目標が十分達成されている。 ・医師派遣の要望はさらに増えており、派遣元の県立病院の医師の確保が課題である。
区 分	H21	H22	H23	H24	H25																										
医療機関(機関)	8	11	10	12	10																										
診療科(科)	10	12	11	12	11																										
延人員数(人)	837	911	753	682	616																										
		62	こども	・医師不足の公的病院に医師を派遣できる体制の整備を図るため、医師を確保する。	医師派遣実績(公的病院) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関(機関)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>診療科(科)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延人員数(人)</td> <td>258</td> <td>416</td> <td>408</td> <td>406</td> <td>662</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H21	H22	H23	H24	H25	医療機関(機関)	5	5	5	5	6	診療科(科)	2	2	3	3	2	延人員数(人)	258	416	408	406	662	A	医師不足となっている公的病院に医師派遣を行い地域医療に貢献したことから、中期目標が十分に達成されている。
区 分	H21	H22	H23	H24	H25																										
医療機関(機関)	5	5	5	5	6																										
診療科(科)	2	2	3	3	2																										
延人員数(人)	258	416	408	406	662																										
		63	こども	小児1次救急医療への応援を行う。	静岡市急病センター、志太榛原地域救急医療センターへ医師を派遣し、診療を行った。 医師派遣実績(急病センター) (単位：人日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>静岡市</td> <td>302</td> <td>304</td> <td>304</td> <td>304</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>志太榛原</td> <td>—</td> <td>21</td> <td>53</td> <td>53</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H21	H22	H23	H24	H25	静岡市	302	304	304	304	252	志太榛原	—	21	53	53	52	A	静岡市急病センター、志太榛原地域救急医療センターへ毎月医師を派遣し、地域の小児医療に貢献したことから、中期目標が十分に達成されている。						
区 分	H21	H22	H23	H24	H25																										
静岡市	302	304	304	304	252																										
志太榛原	—	21	53	53	52																										

中期目標	中期計画	NO	区分	行動計画	業務の実績						自己評価																			
											説明																			
(3) 社会的な要請への協力 県立病院が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的に協力すること。	(3) 社会的な要請への協力 公的機関からの医療に係る鑑定や調査、講師派遣等の社会的な要請に柔軟に応えるための仕組みづくりを進める。	64	総合	院内外の研修会等を定期的に開催することに加え、協議会等の医師会との合同開催を通じ、かかりつけ医へ最新の医療情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・プライマリーケア研究会10回開催 ・病診連携総会毎年1回開催 ・慢性期医療を考える会2回開催 ・地域医療勉強会STEP UPあおい2回開催 						A	・医師会との研究会の合同開催等に積極的に取り組み、多くの参加を得ており、中期目標が十分達成されている。																		
		65	こころ	・精神科救急医療への対応の充実強化を図るため、精神科救急情報センターに専用電話を設置し、24時間体制で精神障害者及び家族からの相談に応じ、必要な情報を提供する。	県内全域を対象とする「精神科救急ダイヤル」を開設し、24時間体制で救急医療相談に対応した。 精神科救急ダイヤル件数 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全相談件数</td> <td>1,840</td> <td>1,747</td> <td>2,012</td> <td>2,458</td> <td>2,462</td> </tr> <tr> <td>うち時間外</td> <td>1,427</td> <td>1,277</td> <td>1,546</td> <td>1,951</td> <td>1,967</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H21	H22	H23	H24	H25	全相談件数	1,840	1,747	2,012	2,458	2,462	うち時間外	1,427	1,277	1,546	1,951	1,967	A	県内全域を対象とし、患者、家族だけでなく、医療機関や関係施設等などからの相談に対応し、救急ダイヤルとしての責務を果たした。 また、相談件数も着実に増加しており、広報活動の成果が表れている。 以上のことから、中期目標が十分達成されている。
		区分	H21	H22	H23	H24	H25																							
		全相談件数	1,840	1,747	2,012	2,458	2,462																							
		うち時間外	1,427	1,277	1,546	1,951	1,967																							
		66	こころ	・他団体等が主催する講習会、研究会、学会への講師派遣を推進する。	院外の講演会等に対して、職員を講師としてを派遣した。 院外講演会講師派遣状況(医師) (単位:回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣回数</td> <td>26</td> <td>37</td> <td>20</td> <td>32</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H21	H22	H23	H24	H25	派遣回数	26	37	20	32	17	A	他団体が主催する講演会の講師として、医師や看護師を派遣し、積極的な地域支援を行っており、中期目標が十分達成されている。						
		区分	H21	H22	H23	H24	H25																							
派遣回数	26	37	20	32	17																									
67	こころ	・学会発表・医療情報誌等への論文掲載など、医療情報の発信を推進する。	院外講演会講師派遣状況(看護師) (単位:回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣回数</td> <td>12</td> <td>23</td> <td>20</td> <td>34</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H21	H22	H23	H24	H25	派遣回数	12	23	20	34	24	A	学会発表や研究報告、医療情報誌等への論文掲載等、医療情報の発信を行っており、中期目標が十分達成されている。								
区分	H21	H22	H23	H24	H25																									
派遣回数	12	23	20	34	24																									
68	こころ	・精神医療公開講座の開催を推進する。	精神医療関係の公開講座を企画・開催している。 精神医療公開講座開催状況 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催件数</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>68</td> <td>327</td> <td>22</td> <td>57</td> <td>357</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H21	H22	H23	H24	H25	開催件数	1	3	2	3	3	参加者数	68	327	22	57	357	A	公開講座の開催を通じて、一般県民や県内医療機関に対して、精神医療に関する情報提供を行うことができたと同時に、当センターの取組みについてもPRすることができたため、中期目標が十分達成されている。		
区分	H21	H22	H23	H24	H25																									
開催件数	1	3	2	3	3																									
参加者数	68	327	22	57	357																									
69	こころ	・広報誌(情報誌・NEWS)等の発行、ホームページを活用した情報の発信機能を強化する。	広報紙「ぬくもり」の発行(年4回 発行部数 500部/回)						A	広報誌やホームページ等を活用し、新たな情報を随時提供することができたため、中期目標が十分達成されている。																				
70	こころ	・医療にかかる鑑定等の要請への協力など積極的に対応する。	・鑑定などへの対応 医療観察法の鑑定医として協力 CRT(静岡県こころの緊急支援活動) 支援員登録者1人 医療観察法による鑑定入院受入実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H21	H22	H23	H24	H25	こころ	6	11	10	4	5	A	要請のあった鑑定入院の受け入れについては、全て対応しており、中期目標が十分達成されている。								
区分	H21	H22	H23	H24	H25																									
こころ	6	11	10	4	5																									
71	こども	・特別支援学校や児童相談所など教育機関や福祉機関との連携を強化するため、検討会や説明会などを継続的に開催する。	「子どもの心の診療ネットワーク事業」(No.34参照)の一環として精神保健講座、巡回相談会、院内相談会を開催した。 開催状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象・実施時期等</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精神保健講座</td> <td>県内小中学校教諭</td> <td>5回</td> <td>5回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>児童養護施設巡回相談</td> <td>子ども・家族</td> <td>10施設</td> <td>10施設</td> <td>8施設</td> </tr> <tr> <td></td> <td>月2回実施(年24回)</td> <td>20回</td> <td>20回</td> <td>16回</td> </tr> </tbody> </table>						区分	対象・実施時期等	H23	H24	H25	精神保健講座	県内小中学校教諭	5回	5回	5回	児童養護施設巡回相談	子ども・家族	10施設	10施設	8施設		月2回実施(年24回)	20回	20回	16回	A	厚生労働省の「子どもの心の診療ネットワーク事業」における静岡県の拠点病院として、精神保健講座、巡回相談会、院内相談会を開催したことから、中期目標が十分達成されている。
区分	対象・実施時期等	H23	H24	H25																										
精神保健講座	県内小中学校教諭	5回	5回	5回																										
児童養護施設巡回相談	子ども・家族	10施設	10施設	8施設																										
	月2回実施(年24回)	20回	20回	16回																										

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績					自己評価																																																							
				行動計画					説明																																																							
		72	子ども	<p>・小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者自立支援法、児童福祉法、精神保健法などの実施に協力する。</p>					B	<p>証明書・診断書の発行など公費適応患者の利便性を重視して対応していることで、中期目標が概ね達成されている。</p> <p>公費負担には本人による申請が必要となり、認定には時間がかかるため、請求が遅れるケースがある上、本人の申請が遅れた場合などの対応方法について検討が必要である。</p>																																																						
		73	子ども	<p>・地球温暖化への対応、省エネ対策のためエコ活動に取り組む</p>							B	<p>・ESCO事業については、その効果検証を継続し、省エネ効果の向上を図っていることで、中期目標が概ね達成されている。</p> <p>・職員に対しては、繰り返し省エネ意識を高めるよう啓発を続ける必要がある。</p>																																																				
				<p>【子ども】 公費負担患者状況 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児慢性</td> <td>1,616</td> <td>1,540</td> <td>1,731</td> <td>1,771</td> <td>1,621</td> </tr> <tr> <td>育成医療</td> <td>656</td> <td>760</td> <td>994</td> <td>922</td> <td>831</td> </tr> <tr> <td>養育医療</td> <td>204</td> <td>286</td> <td>275</td> <td>239</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>特定疾患</td> <td>159</td> <td>190</td> <td>234</td> <td>158</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>生活保護</td> <td>245</td> <td>113</td> <td>140</td> <td>133</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>精神保健</td> <td>206</td> <td>216</td> <td>244</td> <td>153</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>37</td> <td>89</td> <td>105</td> <td>121</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,123</td> <td>3,194</td> <td>3,723</td> <td>3,497</td> <td>3,172</td> </tr> </tbody> </table>					区分	H21			H22	H23	H24	H25	小児慢性	1,616	1,540	1,731	1,771	1,621	育成医療	656	760	994	922	831	養育医療	204	286	275	239	224	特定疾患	159	190	234	158	128	生活保護	245	113	140	133	135	精神保健	206	216	244	153	110	その他	37	89	105	121	123	計	3,123	3,194	3,723	3,497	3,172
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																											
小児慢性	1,616	1,540	1,731	1,771	1,621																																																											
育成医療	656	760	994	922	831																																																											
養育医療	204	286	275	239	224																																																											
特定疾患	159	190	234	158	128																																																											
生活保護	245	113	140	133	135																																																											
精神保健	206	216	244	153	110																																																											
その他	37	89	105	121	123																																																											
計	3,123	3,194	3,723	3,497	3,172																																																											
				<p>・エコアクションWGを設置し職員の省エネ行動推進の啓蒙を行った。</p> <p>・特に夏場において、院内照明点灯の再検討、空調の効率的運用等節約に努めた。</p> <p>・平成22年度にESCO事業を導入した。ESCO事業によるエネルギー消費量は、平成23年度実績を平成19年度、20年度の平均消費量と比較すると、-8,332GJ（ギガジュール）となっており、エネルギー削減に貢献した。これにより省エネルギー法による平成22年から年平均1%以上のエネルギー使用量の削減目標を達成できた。</p>																																																												

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績		自己評価																															
				行動計画		説明																															
5 災害等における医療救護 県民の安心・安全を守るため、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、災害医療チームを派遣するなど医療救護に取り組むこと。	5 災害等における医療救護 東海地震などによる大規模災害の発生が危惧される静岡県の県立病院として、災害等への目撃からの備えを進め、発生時には静岡県医療救護計画等に基づき、医療救護活動に従事する。																																				
(1) 医療救護活動の拠点機能 災害等に対する日頃の備えに努め、大規模災害等における本県の医療救護活動の拠点機能を担うこと。	(1) 医療救護活動の拠点機能 日ごろから実戦的な災害医療訓練を定期的に開催するなど、医療救護活動の拠点となる病院としての機能を維持向上していくとともに、災害等の発生時には患者の受入れなど求められる機能を発揮する。	74	3病院 (総務)	<ul style="list-style-type: none"> 災害医療訓練を実施する。 災害対応マニュアル等の整備、見直しを行い発災時に迅速な対応ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹災害拠点病院等として、災害時に期待される役割を果たすべく、情報伝達やトリアージ訓練、防災訓練等を定期的に開催している。 また、東日本大震災を契機に、その時の支援活動等により得られた知見を反映させた、災害対応マニュアルの見直しを行うとともに、医療行為の継続に必要な機器の購入や設備の導入を検討している。 <p>防災訓練等の主な実施状況 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	H24	H25	総合	2	10	11	12	12	こころ	2	3	4	3	2	こども	2	3	2	4	4	計	6	16	17	19	18	A	<ul style="list-style-type: none"> 情報伝達・避難訓練等、災害の発生を想定し、公的病院の役割を果たすべく各種訓練を実施しており、中期目標が十分達成されている。 引き続き、災害発生に備えた病院機能及び災害医療体制の充実に努める。
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																
総合	2	10	11	12	12																																
こころ	2	3	4	3	2																																
こども	2	3	2	4	4																																
計	6	16	17	19	18																																
(2) 他県等の医療救護への協力 他県等の大規模災害等においても、災害医療チームを派遣するなど、積極的に医療救護に協力すること。	(2) 他県等の医療救護への協力 災害時医療救護派遣マニュアルに基づき、速やかに医療チームを派遣できるよう定期的な要員訓練を行うとともに、随時マニュアルを点検する。	75	3病院 (総務)	災害医療救護応援班の訓練を実施する	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災に対して、県医療救護班を岩手県宮古市へ派遣した（H23の5チームから通算して29チーム）。 H23.04 一般医療班4チーム（総合とこどもの合同編成） H23.04～H24.03 精神医療班20チーム 毎月1～2回各4日間延52人（こころ） 県医療救護班に対する薬剤及び診療材料の供給を行った。 H23.04～05（総合） 福島原発避難区域の住民の一時帰宅のためのスクリーニング業務に放射線技師を派遣した。 H23.07.18～22 2名（総合、こども） 	A	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年3月11日に発生した東日本大震災において、発災当日に、DMAT（災害医療チーム）を派遣するとともに、その後も継続的に医療救護に関する支援活動を実施しており、中期目標が十分達成されている。 																														

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績		自己評価																																																																																																															
				行動計画		説明																																																																																																															
	<p>6 中期目標達成のために不可欠な人材の確保及び育成</p> <p>県立病院の医療機能を最大限に発揮するため、医療従事者が専門業務に専念できる体制の整備、教育研修の充実、就労環境の向上、人材確保機能の強化など、優秀な人材の確保及び育成に最重要課題として取り組む。</p> <p>これに際しては地方独立行政法人の特徴を活かし、前例にとらわれない柔軟な運営に取り組む。</p>	76	3病院(総務)	<p>研修医の確保に努める。</p>	<p>研修医確保のために様々な取組みを実施し、研修医在職数を年々増加させている。</p> <p>(主な取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒後臨床研修評価機構の受審することにより基準を満たす研修体制の確立(総合) ・ 研修医を対象とした公募サイトを利用し、募集広報の実施(総合・こども) ・ 研修医を対象とした合同説明会への参加(3病院) ・ 研修プログラムの充実(総合) ・ 研修医向けセミナーの開催(こども) <p>研修医の受入数(各年度4月1日付け在職数) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総合</td> <td>初期研修医</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>自治医卒</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>31</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>自治医以外</td> <td>29</td> <td>37</td> <td>47</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>72</td> <td>74</td> <td>77</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こころ</td> <td>後期研修医</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こども</td> <td>後期研修医</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>その他(※)</td> <td>29</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36</td> <td>38</td> <td>43</td> <td>42</td> <td>48</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">計</td> <td>初期研修医</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>自治医卒</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>31</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>自治医以外</td> <td>38</td> <td>50</td> <td>64</td> <td>57</td> <td>60</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>その他(※)</td> <td>29</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>98</td> <td>106</td> <td>118</td> <td>118</td> <td>129</td> <td>136</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ その他は、後期研修修了後更に専門性を高めるための研修を行う医師</p>	区 分		H21	H22	H23	H24	H25	H26	総合	初期研修医	4	4	5	6	5	4	自治医卒	27	24	20	26	31	36	自治医以外	29	37	47	42	41	48	計	60	65	72	74	77	88	こころ	後期研修医	2	3	3	2	4		計	2	3	3	2	4	0	こども	後期研修医	7	10	14	13	15	15	その他(※)	29	28	29	29	33	33	計	36	38	43	42	48	48	計	初期研修医	4	4	5	6	5	4	自治医卒	27	24	20	26	31	36	自治医以外	38	50	64	57	60	63	その他(※)	29	28	29	29	33	33	計	98	106	118	118	129	136	A	<p>平成26年度における研修医在職数は、平成21年度と比較し、大幅に増加(38名 138.8%)しており、中期目標が十分達成されている。</p>
区 分		H21	H22	H23	H24	H25	H26																																																																																																														
総合	初期研修医	4	4	5	6	5	4																																																																																																														
	自治医卒	27	24	20	26	31	36																																																																																																														
	自治医以外	29	37	47	42	41	48																																																																																																														
	計	60	65	72	74	77	88																																																																																																														
こころ	後期研修医	2	3	3	2	4																																																																																																															
	計	2	3	3	2	4	0																																																																																																														
こども	後期研修医	7	10	14	13	15	15																																																																																																														
	その他(※)	29	28	29	29	33	33																																																																																																														
	計	36	38	43	42	48	48																																																																																																														
計	初期研修医	4	4	5	6	5	4																																																																																																														
	自治医卒	27	24	20	26	31	36																																																																																																														
	自治医以外	38	50	64	57	60	63																																																																																																														
	その他(※)	29	28	29	29	33	33																																																																																																														
	計	98	106	118	118	129	136																																																																																																														
		77	3病院(総務)	<p>・ 看護師・その他医療従事者等の実習・アルバイト研修等の受入れを推進する。</p>	<p>看護学生を対象とし、病院体験を目的とした看護学生短期アルバイトに加え、24年度より準夜勤帯における夜間アルバイトを開始し、将来の看護師の確保を目指している。</p> <p>看護学生短期アルバイト (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>延日数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こころ</td> <td>人数</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>延日数</td> <td>2</td> <td>30</td> <td>66</td> <td>49</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こども</td> <td>人数</td> <td>20</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>延日数</td> <td>89</td> <td>40</td> <td>44</td> <td>50</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>看護学生夜間アルバイト (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>			H21	H22	H23	H24	H25	総合	人数	0	0	0	0	5	延日数	0	0	0	0	10	こころ	人数	1	10	18	14	0	延日数	2	30	66	49	0	こども	人数	20	11	9	10	20	延日数	89	40	44	50	100			H21	H22	H23	H24	H25	総合	人数				4	5	こころ	人数				0	0	こども	人数				2	6	A	<p>従来より行っていた看護学生短期アルバイトに加え、新たに開始した看護学生夜間アルバイトは、準夜勤帯に勤務する看護師の業務軽減の効果も期待されており、中期目標を十分に達成されている。</p>																																				
		H21	H22	H23	H24	H25																																																																																																															
総合	人数	0	0	0	0	5																																																																																																															
	延日数	0	0	0	0	10																																																																																																															
こころ	人数	1	10	18	14	0																																																																																																															
	延日数	2	30	66	49	0																																																																																																															
こども	人数	20	11	9	10	20																																																																																																															
	延日数	89	40	44	50	100																																																																																																															
		H21	H22	H23	H24	H25																																																																																																															
総合	人数				4	5																																																																																																															
こころ	人数				0	0																																																																																																															
こども	人数				2	6																																																																																																															
		78	3病院(総務)	<p>・ 即時的で効果的な人材を確保するため、採用試験を適宜実施する。</p>	<p>柔軟な採用試験の実施 (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">看護師</td> <td>定期募集</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>特別募集</td> <td>毎月第2土</td> <td>8</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コメディカル</td> <td>定時募集</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>追加募集</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事務</td> <td>定時募集</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>追加募集</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 看護師 年間を通して採用試験を行い、看護師免許所持者の採用時期を前倒しして随時採用を行っている。</p> <p>・ 事務 総合職に加えて、経験者や情報処理の募集を行うなど専門性向上を目指している。</p>	区 分		H21	H22	H23	H24	H25	看護師	定期募集	3	4	4	4	5	特別募集	毎月第2土	8	—	—	—	コメディカル	定時募集	1	1	1	1	1	追加募集	2	1	1	2	2	事務	定時募集	2	2	1	2	2	追加募集	—	—	1	2	1	A	<p>看護師試験における、試験員に看護師長の追加や定期募集回数増のほかに事務職試験のエントリーシート選考、簡易面談の実施方法について工夫を行うほか、柔軟に追加募集を行うなど、中期目標が十分達成されている。</p>																																																																
区 分		H21	H22	H23	H24	H25																																																																																																															
看護師	定期募集	3	4	4	4	5																																																																																																															
	特別募集	毎月第2土	8	—	—	—																																																																																																															
コメディカル	定時募集	1	1	1	1	1																																																																																																															
	追加募集	2	1	1	2	2																																																																																																															
事務	定時募集	2	2	1	2	2																																																																																																															
	追加募集	—	—	1	2	1																																																																																																															

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績					自己評価																																																																						
				行動計画						説明																																																																					
		79	3病院 (総務)	<p>・医療従事者確保に向け、就職説明会等を積極的に開催する。</p>	<p>・合同就職説明会、県内養成校の説明会に参加して、受験希望者の拡大や確保に努めた。 ・新卒看護師向け求人誌への看護師募集記事の掲載を行い、試験実施の周知を行った。</p> <p>看護師向け就職説明会 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ナース専科</td> <td>46</td> <td>71</td> <td>57</td> <td>166</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>看護ナビ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>ナースナビ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>県立大学</td> <td>-</td> <td>21</td> <td>31</td> <td>20</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>静岡看護専門学校</td> <td>-</td> <td>15</td> <td>32</td> <td>35</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>聖隷クリストファー大学</td> <td>24</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>県立大学短期大学部</td> <td>-</td> <td>60</td> <td>29</td> <td>47</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>東部看護専門学校</td> <td>-</td> <td>30</td> <td>57</td> <td>95</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	H24	H25	ナース専科	46	71	57	166	132	看護ナビ	-	-	-	-	43	ナースナビ	-	-	-	-	31	県立大学	-	21	31	20	27	静岡看護専門学校	-	15	32	35	47	聖隷クリストファー大学	24	30	30	30	14	県立大学短期大学部	-	60	29	47	52	東部看護専門学校	-	30	57	95	90	B	就職情報会社及び養成校が開催する看護師就職説明会に積極的に参加を行い、周知活動に努めており、中期期間中に看護師数は増加しており、概ね中期計画を達成している。一方で、全国的な看護師不足の中、必要十分な看護師確保に至っておらず、更なる積極的な取り組みが必要である。																		
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																										
ナース専科	46	71	57	166	132																																																																										
看護ナビ	-	-	-	-	43																																																																										
ナースナビ	-	-	-	-	31																																																																										
県立大学	-	21	31	20	27																																																																										
静岡看護専門学校	-	15	32	35	47																																																																										
聖隷クリストファー大学	24	30	30	30	14																																																																										
県立大学短期大学部	-	60	29	47	52																																																																										
東部看護専門学校	-	30	57	95	90																																																																										
		80	3病院 (総務)	<p>・研修体系プログラムの整備と研修内容の充実を図る。</p>	<p>・毎年度、研修メニューや内容を見直しながら、職員からの要望を取り入れた研修プログラムを実施している</p> <p>本部主催研修 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>階層別 (新規採用職員)</td> <td>156</td> <td>185</td> <td>123</td> <td>131</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>＃ (新規役付職員)</td> <td>30</td> <td>27</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>＃ (新任監督者)</td> <td>-</td> <td>22</td> <td>27</td> <td>26</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>＃ (管理者)</td> <td>-</td> <td>26</td> <td>21</td> <td>20</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>専門 (コーチング)</td> <td>-</td> <td>7</td> <td>37</td> <td>28</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>＃ (コミュニケーション)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>33</td> <td>21</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>＃ (プレゼンテーション)</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>＃ (メンタルサポート)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>38</td> <td>36</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>事務職員基礎研修</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>＃ 業務研修</td> <td>-</td> <td>23</td> <td>85</td> <td>117</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>＃ (パソコン研修)</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	H24	H25	階層別 (新規採用職員)	156	185	123	131	147	＃ (新規役付職員)	30	27	23	19	24	＃ (新任監督者)	-	22	27	26	14	＃ (管理者)	-	26	21	20	16	専門 (コーチング)	-	7	37	28	32	＃ (コミュニケーション)	-	-	33	21	17	＃ (プレゼンテーション)	-	5	31	27	38	＃ (メンタルサポート)	-	-	38	36	24	事務職員基礎研修	-	-	13	9	12	＃ 業務研修	-	23	85	117	-	＃ (パソコン研修)	-	5	-	-	-	A	階層別に必要な研修体系を確立し、スキル向上の専門研修を実施するなど、中期目標が十分達成されている。
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																																										
階層別 (新規採用職員)	156	185	123	131	147																																																																										
＃ (新規役付職員)	30	27	23	19	24																																																																										
＃ (新任監督者)	-	22	27	26	14																																																																										
＃ (管理者)	-	26	21	20	16																																																																										
専門 (コーチング)	-	7	37	28	32																																																																										
＃ (コミュニケーション)	-	-	33	21	17																																																																										
＃ (プレゼンテーション)	-	5	31	27	38																																																																										
＃ (メンタルサポート)	-	-	38	36	24																																																																										
事務職員基礎研修	-	-	13	9	12																																																																										
＃ 業務研修	-	23	85	117	-																																																																										
＃ (パソコン研修)	-	5	-	-	-																																																																										
		81	3病院 (総務)	<p>・看護師修学資金制度の創設により、看護師確保を図る。</p>	<p>修学資金の貸付状況(H26.3月末現在) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規決定者</td> <td>87</td> <td>73</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>取消者</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>貸与者計</td> <td>78</td> <td>70</td> <td>148</td> </tr> <tr> <td>うち貸与満了者</td> <td>40</td> <td>28</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>うちH25採用者</td> <td>30</td> <td></td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>うちH26採用者</td> <td>10</td> <td>28</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H24	H25	計	新規決定者	87	73	160	取消者	9	3	12	貸与者計	78	70	148	うち貸与満了者	40	28	68	うちH25採用者	30		30	うちH26採用者	10	28	38	A	平成24年度より開始した看護師修学資金制度により、68名の看護師を採用し、今後も一定数の看護師の確保に寄与すると考えられ、中期計画が十分達成されている																																												
区分	H24	H25	計																																																																												
新規決定者	87	73	160																																																																												
取消者	9	3	12																																																																												
貸与者計	78	70	148																																																																												
うち貸与満了者	40	28	68																																																																												
うちH25採用者	30		30																																																																												
うちH26採用者	10	28	38																																																																												
		82	3病院 (総務)	<p>・認定看護師等の資格取得を支援することにより、診療の質の向上に努める。</p>	<p>認定看護師の資格取得に必要な研修に年間数名派遣することにより、認定看護師の取得者数の増加を図っている。</p> <p>認定看護師の状況 (各年度4月1日時点) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>取得者</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>研修受講者</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>取得者</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>研修受講者</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>取得者</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>研修受講者</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	総合	9	13	14	11	13	12	取得者	4	1	0	2	2	1	研修受講者	6	7	6	7	7	7	こころ	1	0	0	1	0	1	取得者	7	8	8	7	10	11	研修受講者	0	0	2	3	1		計	22	28	28	25	30	30	取得者	5	1	2	6	3	2	研修受講者							B	各年度において認定看護師の取得受験を行っているが、退職者もあり全ての取得受験者が既取得者の増加つながないものの、25年度末で21年度比8名増となり、中期目標が十分達成されている。		
区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26																																																																									
総合	9	13	14	11	13	12																																																																									
取得者	4	1	0	2	2	1																																																																									
研修受講者	6	7	6	7	7	7																																																																									
こころ	1	0	0	1	0	1																																																																									
取得者	7	8	8	7	10	11																																																																									
研修受講者	0	0	2	3	1																																																																										
計	22	28	28	25	30	30																																																																									
取得者	5	1	2	6	3	2																																																																									
研修受講者																																																																															

中期目標	中期計画	NO	区分	行動計画	業務の実績	自己評価																																																																																					
						説明																																																																																					
		83	3病院 (総務)	・院内における資格取得者の活用を促進する。	人事異動の際に、業務に必要な資格の取得状況などを考慮したうえで、適切な人員配置を目指している。 また、事務職員について診療情報管理士の資格取得を促しており、取得後の活用を目指している。	B	診療情報管理士資格取得者の効果的な人員配置などの課題もあるが、資格取得の促進等、中期目標が概ね達成されている。																																																																																				
		84	総合	・メディカルスキルアップセンターの活用を図る。	<p>・研修医や新人ナースは必ずメディカルスキルアップセンターを使用している。医師の研修プログラムにシミュレーターを義務とするなどセンターの利用を取り入れ始めている。</p> <p>・外部利用について、使用規程、料金規程の案を作成し、運用開始した。</p> <p>メディカルスキルアップセンター利用状況 (単位:回、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H21</th> <th colspan="2">H22</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>うち外部利用</th> <th></th> <th>うち外部利用</th> <th></th> <th>うち外部利用</th> <th></th> <th>うち外部利用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医師</td> <td>開催回数</td> <td>83</td> <td>59</td> <td>0</td> <td>54</td> <td>0</td> <td>105</td> <td>18</td> <td>140</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>1,391</td> <td>1,177</td> <td>0</td> <td>893</td> <td>0</td> <td>1,373</td> <td>75</td> <td>1,573</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">看護師</td> <td>開催回数</td> <td>57</td> <td>92</td> <td>1</td> <td>69</td> <td>0</td> <td>97</td> <td>22</td> <td>152</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>905</td> <td>1,611</td> <td>26</td> <td>713</td> <td>0</td> <td>984</td> <td>181</td> <td>1,327</td> <td>222</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>開催回数</td> <td></td> <td>8</td> <td>7</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>52</td> <td>35</td> <td>86</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td></td> <td>335</td> <td>315</td> <td>522</td> <td>522</td> <td>870</td> <td>634</td> <td>1,575</td> <td>809</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		H21		H22		H23		H24		H25				うち外部利用		うち外部利用		うち外部利用		うち外部利用	医師	開催回数	83	59	0	54	0	105	18	140	40	参加人数	1,391	1,177	0	893	0	1,373	75	1,573	214	看護師	開催回数	57	92	1	69	0	97	22	152	39	参加人数	905	1,611	26	713	0	984	181	1,327	222	その他	開催回数		8	7	22	22	52	35	86	66	参加人数		335	315	522	522	870	634	1,575	809	A	<p>・基本手技シミュレーター、蘇生訓練用品、臨床各科訓練用品等を実際に使うことで、医療技術の向上に寄与したため、中期目標が十分達成されている。</p> <p>さらに医師の研修プログラムへの取り込みも始まっている。</p> <p>・外部利用の促進のためには、広報等の戦略を練る必要があるが、専任の管理者等がないため、体制整備が必要。</p>
区 分		H21		H22				H23		H24		H25																																																																															
				うち外部利用		うち外部利用		うち外部利用		うち外部利用																																																																																	
医師	開催回数	83	59	0	54	0	105	18	140	40																																																																																	
	参加人数	1,391	1,177	0	893	0	1,373	75	1,573	214																																																																																	
看護師	開催回数	57	92	1	69	0	97	22	152	39																																																																																	
	参加人数	905	1,611	26	713	0	984	181	1,327	222																																																																																	
その他	開催回数		8	7	22	22	52	35	86	66																																																																																	
	参加人数		335	315	522	522	870	634	1,575	809																																																																																	

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 医療の質の向上を目指して、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に活かし、業務運営の改善及び効率化に努め、生産性の向上を図ること。

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績		自己評価																																											
				行動計画		説明																																											
<p>1 簡素で効率的な組織づくり 医療を取り巻く環境の変化とそのスピードに迅速かつ的確に対応するため、簡素で効率的な組織づくりを進めること。</p>	<p>第2 -1 簡素で効率的な組織づくり 医療環境の変化や県民の医療ニーズに的確に応じられるよう弾力的な組織づくりを進めるとともに、迅速な意思決定がされるような組織運営に努める。</p>	85	3病院 (総務)	組織の効率化、各種権限の病院長への委任により事務のスピード化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・病院現場のニーズに迅速に対応するため、会計規程等により、支出等の裁決権限を大幅に病院長へ委任している。 ・理事会、運営会議、企画調整会議、経営担当課長会議、総務担当課長会議を毎月開催（8月を除く）し、法人の運営情報の共有化を図るとともに、予算の補正等に緊急な課題に対する即時的な対応を行っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各病院に権限を委譲し、迅速な意思決定ができる体制が整ったため、中期目標が十分達成されている。 																																										
<p>2 効率的な業務運営の実現 県立病院が有する医療資源の有効活用や業務の見直しを常に行い、効果的で効率的な業務運営の実現を図ること。</p>	<p>2 効率的な業務運営の実現 県立病院が有する人的、物的等医療資源を有効に活用するため、常に効率的な業務運営に取り組むとともに、経営情報を共有し職員の経営意識の醸成を図る。 ・各職員が専門性を十分に発揮できるような体制を整備するとともに、業務量に応じた柔軟な職員配置に努める。 ・診療報酬など収入の適正な確保を図るとともに、業務の集約化や外部委託、多様な契約手法の活用などにより、効率的な業務運営に努める。 ・常に経営情報を把握するとともに、適時適切な措置を講じられるような体制を整備する。また、経営情報を職員が共有するなど、職員全員の経営意識の向上に努める。</p>	86	3病院 (企画)	毎月の理事会や病院運営会議において、経営状況を報告・分析するとともに、それらの経営状況の職員への周知を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会や病院運営会議において、四半期毎の経営状況を分析し、報告を行った。 ・理事会における審議・報告事項や経営状況を3病院合同幹部会議において各病院の幹部職員に毎月報告し、周知を図った。 ・新規採用職員研修などにおいて、病院経営や効率的な業務運営に関する取組等の科目を設け、意識の醸成を図った。 ・院内コミュニケーションシステムを通じて、理事会資料等の経営情報を全職員に向け提供している。 ・職員報「トライアングル」においても、病院の経営状況を盛り込み、意識醸成を図った。 	A	経営分析を職員に周知することにより、職員の経営に対する意識啓発が図られつつあることで、中期目標が十分達成されている。																																										
		87	3病院 (経営)	未収金の圧縮を図るため、未収金の収納勧奨等について外部の専門会社を活用する。	平成21年度から債権回収会社へ支払案内等の業務委託を行っていたが、未収金対策をより強化するため、平成24年度から法律事務所へ債権管理回収業務を委託した。 未収金回収実績（委託分） （単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>6,946</td> <td>15,007</td> <td>10,667</td> <td>14,573</td> <td>22,692</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>799</td> <td>164</td> <td>84</td> <td>1,497</td> <td>892</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>1,220</td> <td>978</td> <td>342</td> <td>2,842</td> <td>1,144</td> </tr> <tr> <td>回収額計①</td> <td>8,965</td> <td>16,149</td> <td>11,093</td> <td>18,912</td> <td>24,728</td> </tr> <tr> <td>委託費用②</td> <td>3,294</td> <td>5,934</td> <td>4,076</td> <td>6,619</td> <td>8,655</td> </tr> <tr> <td>実収入①-②</td> <td>5,671</td> <td>10,215</td> <td>7,017</td> <td>12,293</td> <td>16,073</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	H24	H25	総合	6,946	15,007	10,667	14,573	22,692	こころ	799	164	84	1,497	892	こども	1,220	978	342	2,842	1,144	回収額計①	8,965	16,149	11,093	18,912	24,728	委託費用②	3,294	5,934	4,076	6,619	8,655	実収入①-②	5,671	10,215	7,017	12,293	16,073	A	新たに法律事務所へ回収業務を委託することで、これまでの支払案内等の業務委託に加えて、個々の債務者に応じた、きめ細かい交渉や踏み込んだ調査、そして督促から最終的な法的措置まで含めた、より実効性のある管理回収業務の実施が可能になったことから、中期目標が十分達成されている。
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																												
総合	6,946	15,007	10,667	14,573	22,692																																												
こころ	799	164	84	1,497	892																																												
こども	1,220	978	342	2,842	1,144																																												
回収額計①	8,965	16,149	11,093	18,912	24,728																																												
委託費用②	3,294	5,934	4,076	6,619	8,655																																												
実収入①-②	5,671	10,215	7,017	12,293	16,073																																												
		88	3病院 (企画)	診療報酬の適正請求にかかる研修会等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 【H21】職員を対象として保険診療に関する講習会を東海北陸厚生局の職員を講師に招いて開催した。 【H22】職員を対象として4月7日に「診療報酬の心得」、2月23日に「保険診療と薬剤」というテーマで研修を実施した。 【H23】職員を対象として4月11日に「診療報酬の心得」、10月13日に「保険診療の留意点について～査定のポイント～」、3月13日に「24年度診療報酬改定のポイント」というテーマで研修を実施した。 【H24】職員を対象として4月3日に「診療報酬における10の心得」9月27日に「当院の査定注意点について」というテーマで研修を実施した。 【H25】職員を対象として3月17日に「診療報酬改定について」というテーマで研修を実施した。 	A	新規に施設基準を取得するなど、診療報酬の適正請求に努めており、研修の結果が活かされていると考えられるため、中期目標が十分達成されている。 新規施設基準取得数 （単位：件） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>10</td> <td>32</td> <td>4</td> <td>32</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>11</td> <td>21</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>24</td> <td>54</td> <td>5</td> <td>53</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> ※取得件数にはランクアップ、再取得を含む	区分	H21	H22	H23	H24	H25	総合	10	32	4	32	9	こころ	3	1	0	2	0	こども	11	21	1	19	0	計	24	54	5	53	9												
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																												
総合	10	32	4	32	9																																												
こころ	3	1	0	2	0																																												
こども	11	21	1	19	0																																												
計	24	54	5	53	9																																												

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績		自己評価																																																							
				行動計画	説明	説明	説明																																																						
		89	3病院 (企画)	診療材料費等の節減のための対策を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 診療材料費の節減に向けて、平成21年度に策定した「診療材料に関する理事長指示」に基づき、各病院において、診療材料に関わる職員の意識の徹底を図っている。 診療材料単価低減を図るため、医療従事者と協働した購入材料の選定や価格交渉を推進した。 薬品費の節減と薬剤部門職員の業務軽減を図るため、一薬品メーカー・一卸業者制度を導入するとともに、機構に薬品を納入する卸業者の数の見直し等により値引率向上を図っている。 	A	<p>診療材料費については、「同種同効品の絞込み」、「3病院品目共通化」、「安価な材料への切替」等について、診療への影響が少なく取り組み易いもの、取組効果の大きいものから継続して節減を図った。</p> <p>また、薬品費については、独立行政法人化後、高い値引率で推移している。</p> <p>いずれも医療従事者との協働した取組が効果を生んだものであり、関係者への意識づけという意味においても改善が図れており、中期目標が十分達成されている。</p>																																																						
		90	3病院 (企画)	効率的な医療機器購入及び管理のための対策を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度に策定した「医療機器購入基本方針」に基づき、医療機器保守契約の最適化を図るとともに、保守契約については、3病院一括化及び複数年契約化、同種業務の包括化を行っている。 	A	<p>医療機器の購入金額の低減のみならず、保守費用に関しても、3病院一括化及び複数年契約化等により費用節減を図った。</p> <p>機器購入・保守に関してもトータルコストの意識改善が図れており、中期目標が十分に達成されている。</p>																																																						
		91	3病院 (企画)	<p>複数年契約や集約化等による委託の見直しをする。</p> <p>①契約の複数年化 ②契約の3病院一本化 ③委託業務の包括化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 委託費等の節減を図るため、3病院（もしくは2病院）で共通性の高いもの、金額の大きいものを中心に、契約の3病院一括化、複数年契約化を進めてきた。 業務委託について、定期的（四半期ごと等）に業務に対するモニタリングを行い、業務の質の維持・向上を図っている。 <p>一括化契約数（カッコは内複数年契約）（単位：件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>9(9)</td> <td>16(14)</td> <td>19(17)</td> <td>18(14)</td> <td>18(14)</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td>1(1)</td> <td>2(2)</td> <td>3(3)</td> <td>3(3)</td> <td>3(3)</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>1(0)</td> <td>1(0)</td> <td>1(0)</td> <td>0(0)</td> <td>1(0)</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>1(1)</td> <td>1(1)</td> <td>2(2)</td> <td>2(2)</td> <td>2(2)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12(11)</td> <td>20(17)</td> <td>25(22)</td> <td>23(19)</td> <td>24(19)</td> </tr> </tbody> </table> <p>モニタリングの適用業務数（単位：件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> <th>業務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>2</td> <td>給食、清掃</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>5</td> <td>給食、清掃、警備、滅菌、器機保守</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>6</td> <td>給食、清掃、警備、滅菌、器機保守、医事</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>5</td> <td>給食、清掃、警備、器機保守、医事</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>4</td> <td>給食、清掃、警備、医事</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22	H23	H24	H25	委託料	9(9)	16(14)	19(17)	18(14)	18(14)	賃借料	1(1)	2(2)	3(3)	3(3)	3(3)	光熱水費	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	手数料	1(1)	1(1)	2(2)	2(2)	2(2)	合計	12(11)	20(17)	25(22)	23(19)	24(19)	年度	件数	業務	H21	2	給食、清掃	H22	5	給食、清掃、警備、滅菌、器機保守	H23	6	給食、清掃、警備、滅菌、器機保守、医事	H24	5	給食、清掃、警備、器機保守、医事	H25	4	給食、清掃、警備、医事	A	<p>一括化、複数年化により、各契約のスケールメリットによる費用節減とともに、機構内の事務の効率化を図ることができた。</p> <p>モニタリングの導入により受託業者の意識を向上させると共に、事務職員以外の医療従事者も委託業務への質の評価に対する意識が高まった。</p> <p>一括化、複数年化の改善も一段落し、切替えの際にも導入時と同水準もしくはそれ以上の効果を継続できているため、中期目標が十分達成されている。</p>
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																								
委託料	9(9)	16(14)	19(17)	18(14)	18(14)																																																								
賃借料	1(1)	2(2)	3(3)	3(3)	3(3)																																																								
光熱水費	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)																																																								
手数料	1(1)	1(1)	2(2)	2(2)	2(2)																																																								
合計	12(11)	20(17)	25(22)	23(19)	24(19)																																																								
年度	件数	業務																																																											
H21	2	給食、清掃																																																											
H22	5	給食、清掃、警備、滅菌、器機保守																																																											
H23	6	給食、清掃、警備、滅菌、器機保守、医事																																																											
H24	5	給食、清掃、警備、器機保守、医事																																																											
H25	4	給食、清掃、警備、医事																																																											
		92	総合	より効率的で安定的な経営を維持するため原価計算への取組を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 総合病院においてH23.1から原価計算システムを稼働させ、検証や見直しを図りながら定期的にデータを蓄積した。 	B	<p>システムを活用した経営分析については、データの精度向上のため随時見直しを行っている段階ということもあり、今後の課題であるが、システムの定期的な運用という点で一定の成果をあげており、中期計画が概ね達成されている。</p>																																																						

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績						自己評価																																													
				行動計画			業務の実績			説明																																													
3 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した職員を確保及び育成することにより、専門性の向上を図ること。	3 事務部門の専門性の向上 経営管理機能を強化するため、法人固有の事務職員を採用するとともに、専門性の向上に計画的に取り組む。併せて、急速な経営環境の変化にも迅速に対応できるよう病院運営や医療事務等に精通した人材の確保に努める。	93	3病院(総務)	プロパー職員の計画的な確保により、事務部門の業務に関する専門性・継続性を高める。			・事務プロパー職員の確保のため、追加の募集を行う等、法人化のメリットを活かし柔軟に対応した。 ・就職情報サイトへの情報掲載、合同就職説明会(東京、静岡)へ参加して、就職希望者の拡大を図っている。 ・大学就職担当者との意見交換会(県主催)において、求人への周知を行い、就職希望者の拡大を図っている。 ・県内大学(静岡大学、県立大学)の学内説明会に参加して、就職希望者の拡大を図っている。			A	・毎年度実施している採用試験により、段階的にプロパー職員を採用して計画人員を確保していることから、中期目標が十分達成されている。																																												
				事務プロパー職員の採用実績 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採用者数</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>9</td> <td>23</td> <td>31</td> <td>39</td> <td>51</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> ＊採用者数には、経験者採用7、情報処理採用1を含む。 ＊H26時点での現員は53人(退職者累計7人)。								区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	採用者数	9	14	8	8	12	9	累計	9	23	31	39	51	60																							
		区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26																																															
採用者数	9	14	8	8	12	9																																																	
累計	9	23	31	39	51	60																																																	
94	3病院(職員)	職員センター業務の一元化	・平成23年3月から総合病院の総務事務の一部と本部で行っていた3病院の給与・共済・旅費等の業務を集約化し、総合病院内に職員センターを設置した。 ・総合病院の職員窓口として届出・相談機能の充実を図るとともに、集中化により職員の専門性を高めながら効率的な業務運営を行っている。 ・病院間や共済等関係機関との定期的な連絡会や研修を実施し、円滑な事務の推進を図っている。			A	・総合病院と本部の重複事務の一元化及び職員の集中配置により処理時間短縮やチェック機能充実が図られ、迅速かつ正確な事務の執行が行われている。 ・各病院も含めた担当者の知識・情報の共有化、連絡体制の構築、事務手続きの統一化等が図られた。 ・窓口の明確化と手続きのワンストップ化により職員の利便性が向上した。 以上のことから、中期目標が十分達成されている。																																																
95	3病院(企画)	業務マニュアルの作成	・業務の標準化、事務職員の円滑なプロパー化に資するため、事務部門の業務マニュアル整備・活用に向けた取組を実施している。 ・3病院業務別担当者連絡会(研修会)を実施している。 ・本部、3病院事務部における担当部署毎に業務の洗い出しを行い、優先順位の高いものからマニュアル化を行っている。 ・院内コミュニケーションシステム上に集約したマニュアルを公開し、共有化している。(定期的に更新を行う仕組みを検討中)			A	本部・病院で共通性の高い人事・給与、予算・決算事務において、法人共通マニュアルの作成、もしくは3病院事務部担当者連絡会の開催により、病院間業務の標準化が図られており、中期目標が十分達成されている。																																																
			(単位:件・%) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">H25実績</th> <th rowspan="2">所属別</th> <th colspan="3">既存資料分</th> <th colspan="3">新規作成分</th> </tr> <tr> <th>既存資料数</th> <th>マニュアル集約数</th> <th>集約率</th> <th>新規作成必要数</th> <th>マニュアル集約数</th> <th>集約率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">業務洗い出し件数(879)</td> <td>合計</td> <td>421</td> <td>413</td> <td>98%</td> <td>458</td> <td>414</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>総合</td> <td>198</td> <td>191</td> <td>96%</td> <td>70</td> <td>68</td> <td>97%</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>86</td> <td>85</td> <td>99%</td> <td>77</td> <td>66</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>100%</td> <td>171</td> <td>140</td> <td>82%</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>56</td> <td>56</td> <td>100%</td> <td>140</td> <td>140</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>						H25実績	所属別	既存資料分			新規作成分			既存資料数	マニュアル集約数	集約率	新規作成必要数	マニュアル集約数	集約率	業務洗い出し件数(879)	合計	421	413	98%	458	414	90%	総合	198	191	96%	70	68	97%	こころ	86	85	99%	77	66	86%	こども	81	81	100%	171	140	82%	本部	56	56	100%
H25実績	所属別	既存資料分			新規作成分																																																		
		既存資料数	マニュアル集約数	集約率	新規作成必要数	マニュアル集約数	集約率																																																
業務洗い出し件数(879)	合計	421	413	98%	458	414	90%																																																
	総合	198	191	96%	70	68	97%																																																
	こころ	86	85	99%	77	66	86%																																																
	こども	81	81	100%	171	140	82%																																																
	本部	56	56	100%	140	140	100%																																																
4 業務改善に不断に取り組む組織風土の醸成 業務改善に向けて、職員の意欲を高め、積極的な参画を促すなど、継続的に業務改善へ取り組む組織風土を醸成すること。	4 業務改善に不断に取り組む組織風土の醸成 業務の改善改革への取り組みを奨励し、その活動を積極的に評価するとともに、職員の意見が反映されやすい風通しの良い組織運営を進めるなど、職員の意欲が高い活気に溢れた病院づくりに取り組む。	96	3病院(企画)	院内コミュニケーションシステムを活用するなどして、職員が経営・業務改善を常時提案できる体制を整備する。			・理事長をトップとした「改革改善委員会」を設置した。 ・各病院において、それぞれ実施されている業務改善への取組を一元化し、全職員が一元となって取り組む仕組みを構築した。 ・当該取組については、院内コミュニケーションシステムを利用した取りまとめを行い、誰もが積極的に参加でき、また他職員の改善提案を確認できるよう仕組みを整備した。 ・制度構築後は、「改革・改善推進制度」に基づき、引き続き、職員が改革改善に進んで取り組めるよう促した。			A	業務改善に不断に取り組む組織風土を醸成するため、組織及び制度構築をし、第1期中期計画期間中は毎年度100件を超える改革改善成果が発表され、とともに、改善内容を院内コミュニケーションシステムを通じて全職員に公開、また、優秀な改善提案を表彰するとともに提案内容を発表する機会を設ける等組織風土醸成の基盤を整えたことで、中期目標が十分達成されている。																																												
				改革・改善推進制度実績件数 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>47</td> <td>57</td> <td>60</td> <td>33</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>24</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>37</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>35</td> <td>32</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>7</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>101</td> <td>118</td> <td>133</td> <td>116</td> <td>130</td> </tr> </tbody> </table>								区分	H21	H22	H23	H24	H25	総合	47	57	60	33	39	こころ	24	17	19	37	30	こども	23	27	35	32	46	本部	7	17	19	14	15	計	101	118	133	116	130								
区分	H21	H22	H23	H24	H25																																																		
総合	47	57	60	33	39																																																		
こころ	24	17	19	37	30																																																		
こども	23	27	35	32	46																																																		
本部	7	17	19	14	15																																																		
計	101	118	133	116	130																																																		

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績		自己評価 説明																										
				行動計画																												
5 就労環境の向上 優秀な医療従事者を確保するため、職員にとって働きやすく、また、働きがいのある病院となるよう、就労環境の向上を図ること。	5 就労環境の向上 仕事と生活の調和に配慮した雇用形態や勤務時間の設定、時間外勤務の縮減など労働時間の適正な管理を進めるほか、職員宿舎や院内保育を充実するなど、働きやすい環境づくりを進める。 また、職員の努力が報われる給与制度の構築など、働きがいを実感できる仕組みづくりを進める。	97	3病院 (総務)	柔軟な職員採用や多様な雇用形態・勤務形態の導入を図る	看護師2交代勤務については、平成22年度に総合病院において試行を開始後、急速に運用を拡大し、25年度においては全病院で看護師2交代勤務が導入される見込みである。 また、当直医師の勤務の過重を軽減するため、総合病院、こども病院において変則勤務を試行している。又、25年度における県立総合病院の救命急センター、こども病院の小児ERの導入に対し、変則勤務を導入し、医師の負担軽減を図った。 看護師2交代勤務の導入状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>試行開始時期</th> <th>制度化時期</th> <th>実施病棟</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>平成22年8月</td> <td>平成23年8月</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>平成24年9月</td> <td>平成25年1月</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>平成23年11月</td> <td>平成24年4月</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> 医師変則勤務の導入状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>当直変則勤務開始時期</th> <th>救急変則勤務開始時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>平成21年8月</td> <td>平成25年7月</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>平成25年1月</td> <td>平成25年6月</td> </tr> </tbody> </table>		試行開始時期	制度化時期	実施病棟	総合	平成22年8月	平成23年8月	9	こころ	平成24年9月	平成25年1月	3	こども	平成23年11月	平成24年4月	9		当直変則勤務開始時期	救急変則勤務開始時期	総合	平成21年8月	平成25年7月	こども	平成25年1月	平成25年6月	A	勤務制度の改正は、独立行政法人化以前では、条例等の改正が必要であり、迅速な対応は困難であったが、独立行政法人の利点を活用し、勤務制度の変更について迅速かつ柔軟に実施しており、中期目標が十分に達成されている。
					試行開始時期	制度化時期	実施病棟																									
総合	平成22年8月	平成23年8月	9																													
こころ	平成24年9月	平成25年1月	3																													
こども	平成23年11月	平成24年4月	9																													
	当直変則勤務開始時期	救急変則勤務開始時期																														
総合	平成21年8月	平成25年7月																														
こども	平成25年1月	平成25年6月																														
		98	3病院 (企画)	<ul style="list-style-type: none"> 総合病院及びこども病院の医師宿舎・看護宿舎の整備を図る。 また、総合病院及びこども病院の院内保育の拡充に向けた検討を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 総合病院及びこども病院の医師宿舎・看護師宿舎、院内保育所の整備に向けて、利用者の意向に配慮した施設整備を目指し、「整備実施計画」を策定した。 総合病院の医師宿舎（世帯用）のリニューアルを実施した。 総合病院の医師・看護師宿舎については、当初計画の敷地内建設を中止し、病院近接の民間の借上宿舎（病院職員用として新たに建設）で対応することとし、平成23年4月入居を開始した。 こども病院の看護師宿舎については、当初計画の敷地内建設を中止し、職員の意向に配慮した民間の借上宿舎（病院職員用として新たに建設）で対応することとし、平成23年4月入居を開始した。 こども病院の医師宿舎については、入居者の意向に配慮した宿舎とするための検討を経て、平成23年度末建設工事を完了し、入居を開始した。 総合病院院内保育所については、平成23年度末に建設工事を完了し、平成24年度から開所した。平成25年度には、職員の要望を汲み取り、日曜保育を開始した。 総合病院において職員数の増加に対応するため、駐車場の確保に努めた。 	A	優秀な医師・看護師を確保するため、就労環境の向上を目指し、医師・看護師宿舎、院内保育所の整備を着実に進めたことで、中期目標が十分達成されている。																									

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績		自己評価 説明																																																																																																																
				行動計画																																																																																																																		
		99	3病院 (総務)	<p>・医療従事者の事務的業務の軽減を図り、本来業務に専念できる環境を整備するために、医療秘書・助手等を効果的に配置する。</p>	<p>医療秘書及び看護助手、病棟支援員を配置して、医師、看護師の業務の軽減を図った。</p> <p>医療秘書の配置 (単位:人工)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>配置人工</td> <td>12.00</td> <td>16.00</td> <td>31.00</td> <td>31.06</td> <td>33.93</td> </tr> <tr> <td>診療報酬加算</td> <td></td> <td></td> <td>50:1</td> <td>25:1</td> <td>25:1</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>配置人工</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こども</td> <td>配置人工</td> <td>12.00</td> <td>13.00</td> <td>18.00</td> <td>18.00</td> <td>18.00</td> </tr> <tr> <td>診療報酬加算</td> <td></td> <td>25:1</td> <td>15:1</td> <td>15:1</td> <td>15:1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>25.00</td> <td>30.00</td> <td>50.00</td> <td>50.06</td> <td>52.93</td> </tr> </tbody> </table> <p>看護助手・支援員の配置 (各年度4月1日時点) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">総合</td> <td>看護助手数</td> <td>42</td> <td>45</td> <td>45</td> <td rowspan="2">55</td> <td rowspan="2">54</td> </tr> <tr> <td>支援員数</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こころ</td> <td>看護助手数</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>9</td> <td rowspan="2">9</td> <td rowspan="2">10</td> </tr> <tr> <td>支援員数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">こども</td> <td>看護助手数</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>19</td> <td rowspan="2">19</td> <td rowspan="2">21</td> </tr> <tr> <td>支援員数</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">計</td> <td>看護助手数</td> <td>65</td> <td>67</td> <td>73</td> <td rowspan="2">83</td> <td rowspan="2">85</td> </tr> <tr> <td>支援員数</td> <td>18</td> <td>10</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成24年度より看護助手と病棟支援員を一括管理とした。</p>			H21	H22	H23	H24	H25	総合	配置人工	12.00	16.00	31.00	31.06	33.93	診療報酬加算			50:1	25:1	25:1	こころ	配置人工	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	こども	配置人工	12.00	13.00	18.00	18.00	18.00	診療報酬加算		25:1	15:1	15:1	15:1		計	25.00	30.00	50.00	50.06	52.93	区分		H21	H22	H23	H24	H25	総合	看護助手数	42	45	45	55	54	支援員数	11	6	7	こころ	看護助手数	8	7	9	9	10	支援員数	2	1	1	こども	看護助手数	15	15	19	19	21	支援員数	5	3	1	計	看護助手数	65	67	73	83	85	支援員数	18	10	9	B	<p>医療秘書の効果的な活用など今後の課題はあるものの、診療報酬である医師事務補助加算の取得や医師看護師の離職率の低下等も確認されており、中期目標が概ね達成されている。</p>													
				H21	H22	H23	H24	H25																																																																																																														
総合	配置人工	12.00	16.00	31.00	31.06	33.93																																																																																																																
	診療報酬加算			50:1	25:1	25:1																																																																																																																
こころ	配置人工	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00																																																																																																																
こども	配置人工	12.00	13.00	18.00	18.00	18.00																																																																																																																
	診療報酬加算		25:1	15:1	15:1	15:1																																																																																																																
	計	25.00	30.00	50.00	50.06	52.93																																																																																																																
区分		H21	H22	H23	H24	H25																																																																																																																
総合	看護助手数	42	45	45	55	54																																																																																																																
	支援員数	11	6	7																																																																																																																		
こころ	看護助手数	8	7	9	9	10																																																																																																																
	支援員数	2	1	1																																																																																																																		
こども	看護助手数	15	15	19	19	21																																																																																																																
	支援員数	5	3	1																																																																																																																		
計	看護助手数	65	67	73	83	85																																																																																																																
	支援員数	18	10	9																																																																																																																		
		100	3病院 (総務)	<p>・有期雇用職員の随時・弾力的な採用・配置により、業務多忙化の解消を図る。</p>	<p>コメディカルが専門業務に集中できるように、周辺事務業務を担う補助職員を積極的に配置した。</p> <p>助手業務の拡充 (各年度4月1日付け) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">総合</td> <td>薬剤助手</td> <td></td> <td>3</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>検査助手</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>放射線助手</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>栄養助手</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ME助手</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">こころ</td> <td>薬剤助手</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>検査助手</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">こども</td> <td>薬剤助手</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>検査助手</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射線助手</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>			H21	H22	H23	H24	H25	H26	総合	薬剤助手		3	6	8	8	10	検査助手				2	2	3	放射線助手	1	1	2	2	2	3	栄養助手				1	1	1	ME助手						1		計	1	4	8	13	13	18	こころ	薬剤助手	1	1	1	1	1	1	検査助手	1	1	1	1	1	1	計	2	2	2	2	2	2	こども	薬剤助手				1	1	1	検査助手	1						放射線助手				1	1	1	計	1	0	0	2	2	2		計	4	6	10	17	17	22	A	<p>独法化前はほとんど配置されていなかったコメディカル補助職員を配置し、免許・資格を有していなくても可能な業務を担い、業務の効率性を向上させており、中期目標が十分に達成されている。</p>
				H21	H22	H23	H24	H25	H26																																																																																																													
総合	薬剤助手		3	6	8	8	10																																																																																																															
	検査助手				2	2	3																																																																																																															
	放射線助手	1	1	2	2	2	3																																																																																																															
	栄養助手				1	1	1																																																																																																															
	ME助手						1																																																																																																															
	計	1	4	8	13	13	18																																																																																																															
こころ	薬剤助手	1	1	1	1	1	1																																																																																																															
	検査助手	1	1	1	1	1	1																																																																																																															
	計	2	2	2	2	2	2																																																																																																															
こども	薬剤助手				1	1	1																																																																																																															
	検査助手	1																																																																																																																				
	放射線助手				1	1	1																																																																																																															
	計	1	0	0	2	2	2																																																																																																															
	計	4	6	10	17	17	22																																																																																																															
		101	各病院	<p>・食堂の改修、カフェテリアの設置等、就労環境の改善に向けて院内施設の充実に向けて検討を進める。</p>	<p>【総合】平成22年度には院内カフェ、平成24年度にはレストラン、新保育所、コンビニをオープンさせた。また、平成22年度に医局の集中配置、各病棟カンファレンスの1病棟1室化、平成23年度には職員休憩室を地階から環境の良い6階に移した。</p>	A	<p>【総合】職員のみならず、患者の利便性も同時に向上し、院内環境改善を進展させたので、中期目標が十分達成されている。</p>																																																																																																															

第4 財務内容の改善に関する事項
 業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすること。

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績		自己評価																																															
				行動計画		説明																																															
第4 財務内容の改善に関する事項 業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすること。	第3 予算（人件費の見積りを含む。） 、 収支計画及び資金計画 「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすることを目指す。	102	3病院 (経営)	新規施設基準取得などによる増収への取組みと業務見直しによる支出節減への取組みを効率的に進めることにより、各年度での3病院黒字化を図る。	中期計画及び年度計画では、H21～H22まで赤字見込みでH23に収支均衡を図り、H24以降の大幅な黒字化を見込んでいたが、H21から毎年度黒字化を達成することができ、このまま順調に推移すれば3病院すべてが各年度で黒字を達成する見込みである。黒字化の大きな要因としては、平成22年度の診療報酬改定による増収効果（試算額875百万円）、平成24年度の診療報酬改定による増収効果（試算額460百万円）があげられるが、経常収支額はそれらの効果以上に伸びている。	A	経常収支比率は、5年間累計で104.6%となる見込みで100%以上を達成するとともに、経常収支の累計額は、中期計画累計の976,064千円を大幅に上回る8,105,226千円となる見込みで、中期目標が十分達成されている。																																														
<経常収支の状況> (税込) (単位：千円、%)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>5年間累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">経常収支</td> <td>中期計画</td> <td>▲845,060</td> <td>▲736,181</td> <td>81,039</td> <td>813,548</td> <td>1,662,718</td> <td>976,064</td> </tr> <tr> <td>年度計画</td> <td>▲609,504</td> <td>24,107</td> <td>256,734</td> <td>1,233,681</td> <td>677,954</td> <td>1,582,972</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>410,740</td> <td>1,851,994</td> <td>2,311,801</td> <td>2,808,167</td> <td>2,803,655</td> <td>10,186,356</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">比率</td> <td>中期計画</td> <td>97.6%</td> <td>97.9%</td> <td>100.2%</td> <td>102.3%</td> <td>104.8%</td> <td>100.6%</td> </tr> <tr> <td>年度計画</td> <td>98.2%</td> <td>100.1%</td> <td>100.7%</td> <td>103.4%</td> <td>101.7%</td> <td>100.9%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>101.2%</td> <td>105.3%</td> <td>106.7%</td> <td>108.0%</td> <td>107.6%</td> <td>105.8%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H21	H22			H23	H24	H25	5年間累計	経常収支	中期計画	▲845,060	▲736,181	81,039	813,548	1,662,718	976,064	年度計画	▲609,504	24,107	256,734	1,233,681	677,954	1,582,972	実績	410,740	1,851,994	2,311,801	2,808,167	2,803,655	10,186,356	比率	中期計画	97.6%	97.9%	100.2%	102.3%	104.8%	100.6%	年度計画	98.2%	100.1%	100.7%	103.4%	101.7%	100.9%	実績	101.2%	105.3%	106.7%	108.0%
区分	H21	H22	H23	H24	H25	5年間累計																																															
経常収支	中期計画	▲845,060	▲736,181	81,039	813,548	1,662,718	976,064																																														
	年度計画	▲609,504	24,107	256,734	1,233,681	677,954	1,582,972																																														
	実績	410,740	1,851,994	2,311,801	2,808,167	2,803,655	10,186,356																																														
比率	中期計画	97.6%	97.9%	100.2%	102.3%	104.8%	100.6%																																														
	年度計画	98.2%	100.1%	100.7%	103.4%	101.7%	100.9%																																														
	実績	101.2%	105.3%	106.7%	108.0%	107.6%	105.8%																																														

第5 その他業務運営に関する重要事項
 県立病院が県内医療機関の模範的役割を果たすため、法令等を遵守し社会規範を尊重するとともに、法人運営の透明性の確保に努め、業務内容や業務改善等の情報発信に積極的に取り組むこと。

中期目標	中期計画	NO	区分	業務の実績		自己評価	
				行動計画		説明	
第5 その他業務運営に関する重要事項 県立病院が県内医療機関の模範的役割を果たすため、法令等を遵守し社会規範を尊重するとともに、法人運営の透明性の確保に努め、業務内容や業務改善等の情報発信に積極的に取り組むこと。		103	3病院 (経営)	<ul style="list-style-type: none"> ・会計基準に基づく適正な会計事務の執行 ・各種監査の実施による内部統制の維持・強化 ・業務実績の公表による業務改善等の情報発信 	【会計監査人監査】 決算や会計処理等について、監査法人の年間延150日程度の実地監査等によるチェックを受け、会計基準に基づく適正な会計事務の執行に努めている。 【各種監査】 県の財政的援助団体等監査（年1回）、監事監査（年2回）、内部監査（年1回）の実施により、内部統制の維持・強化を図っている。 【情報発信】 財務諸表や業務実績報告書をHPで公表し、透明性の確保と業務内容や業務改善等の情報発信をしている。	A	独法化後4年間の会計監査人監査においては、決算等について適正との意見を受けており、また各種監査の実施により、その都度事務改善を図ることにより、内部統制の維持・強化に努めているため、中期目標が十分達成されている。